

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光フィールドワーク	4	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>全受講生が4年生であり卒業がかかっている学生も多いことを念頭に、出席が不足がちの学生が出ないように心掛けた。この科目は他の科目との関連を考慮すると、もっと下の学年での履修が理想的であるが、今となってはそれができないため、社会に出て役に立つことを意識して授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生34名中27名が「優」または「秀」であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本来であれば、学生はもっと下の学年で履修することを想定しているため、4年生での履修となると、「妥当」というには無理がある。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>学生から肯定的なコメントが出ているが、残念ながら、この科目は今回で終わりとなるため、今回の経験を次回に役立てることはできない。しかし、演習系科目では近い科目もあるため、そこで生かしたいと思う。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全員が4年生であったが、全員が単位の修得ができた。さらに、ほとんどの学生は良い成績であった。最後の授業となるため、残念ながら今回得た教訓を次に生かすことはできない。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
多国籍企業論	4	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は旧カリキュラムの一つであり、アンケート中の受講動機では「関心がある」と回答した学生が50%と決して大きくはない。そのため、授業では、講義ノートを作成、配付することで本科目に対する学生の理解の促進に役立て、また適時授業内レポートを課すなど既習内容の定着を図った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が3.9と高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。しかし、到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が3.3～3.9と平均的であるため、思考判断 (DP2) および意欲関心 (DP3) についてはやや達成されたと判断する。以上より、全体を通しては教育目標はやや達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では各国における多国籍企業の成り立ちを概説し、その後具体的な多国籍企業をケーススタディとして随時取り上げて、その経営戦略や経営上の課題について詳しく説明をおこなった。学習到達度の自己評価の平均値が3.7程度と比較的高いため、本学科のDP,CP、カリキュラムマップの観点からは内容的妥当性があったと判断できる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価については、特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」との平均値が3.4とやや低かったものの、その他の平均値は3.8であるため、授業の進め方については一定程度の妥当性があったものとする。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は旧カリキュラムであり次年度以降は開講されないが、教育目標は総じてやや達成されたと考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習	3・4	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門展開科目にあたる中国語通訳ガイド演習は、観光文化学科における教育実務となる分野の修得を深める科目である。中国語通訳ガイドの力の養成に重点を置く。具体的には中国語通訳ガイドの基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳技能の養成を目指した科目である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的なレベルに達したが、理想的なレベルに達したのは50%となった。学習者の到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」は平均値3、5しかなかった、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることが出来た」は平均値4、5やや低かった。学習による授業評価においては5項目平均値5、0と高かったと示されていた。自発的学習や図書館の利用などにおいては少なかった。次年度改善を行いたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて、マップ上の位置づけから見て、本科目は専門展開科目であり、中国語通訳案内士などの資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に込んでいるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において5項目の平均5.0と高かった。但し、自発的学習や図書館の利用が非常に低かった。次年度に向けては改善し、事前に復習、予習するよう促していきたい。学習者は自ら中国を訪れたり、中国への興味が湧いたと示されていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門展開にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成について概ね達成できたが、表現技術の面では課題を残した。じっくり復習する時間が少なかったため、復習課題及び自発的な学習の提示などで改善を図りたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>これまでにない遠隔での卒論指導ということであり、授業中だけで指導ができないことも想定して、授業外に積極的に質問を受け、指導するようにした。学生のコメントを読んでも、指導が行き届いていたことも分かる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>これまでになく全受講生が卒業論文を早く完成させた。学生のコメントを読んでも、卒業論文執筆について高評価のものばかりとなっていることが分かる。全受講生が「優」または「秀」であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

毎回、学生にはそれまで学習した内容との関係性について説明し、この科目の意義について理解させた。学生のコメントにも積極的に他の資料を読んだというものがある。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

学生のコメントを読む限り、授業の進め方については全く問題がないと思われる。例年だと後輩へも指導をしてもらう機会があるが、今回はそれができなかったため、それがハンディとならないように後輩には私が指導をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生たちの卒論執筆については、これまでになく早くかつ完成度が高いものであった。最高の受講生であった。これからも、今回のことを参考にして同様の結果が出せるようにしたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生10名であるが、授業評価回答者は4名だった。学習準備性については、授業評価の1. 受講動機では、①必修科目である(100%)、④単位数を確保する(25%)であり、全て外圧的動機付けである。卒業論文をきちんと仕上げるのが、最も重要であり、卒業論文を仕上げる際の研究倫理については、社会に出てからの社会的倫理観にもつながることもあり、誠実な取り組みを求めた。具体的には参考文献をきちんとルールに従って明示することの重要性に触れ、全体指導でも個別指導でも行った。このことは、2. 到達度自己評価の(9) 職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができたは4.3であり、学習の成果と考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	達成された	やや達成された	どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価(%)では、A(70)、B(30)で、100%である。授業評価では2. 到達度自己評価の10項目の平均値は4.25である。5.学習量の評価では(1) 授業に参加するために1回30分程度以上の準備をどれくらい行いましたかは、③2、3回、⑤6回が各一人で、①0回が2人となる。また、(2) 授業をふり返るために、1回30分程度以上の復習をどのくらい行いましたかも、(1)と同様の結果だった。態度(DP4)については「どちらともいえない」と評価した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習到達度の自己評価は10項目の平均値は4.25である。具体的には(10)職業選択の参考になったが3.8であり、残りの9項目は全て4.3である。4年間の課程を統合的に仕上げる性質の科目であり、ほぼまんべんなくDPをカバーしたと言える。それを可能にしている科目であり、カリキュラムマップ上の位置づけにも内容的妥当性があると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

改善点とは、この学生たちが3年次に言っていたことだが、ゼミらしいことはしないのですかという問いかけにかかわるものである。ゼミらしいこととは、学生がプレゼンテーション、ディスカッション、相互評価等を繰り返しながら、全体の実力を上げていくという手順である。しかしながら、それが受け入れがたい受講生もいてなかなか「ゼミらしい」活動をするのが困難な時期もあった。対面授業があった後期最初には、このゼミらしい活動がかなり成立するようになっていた。学生の意識が高まっていたことがうかがえた。授業の質評価の5項目の平均値は4.16である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的評価は、やや達成されたとした。卒業論文を書く際に、ほとんどの時期に図書館が使えなかったことで、論文に十分な深みが出なかったと危惧する。デジタルの参考文献の割合が増えることは仕方がないことではあるが、やはり紙の媒体の利用が難しい一年だったことが最後まで影響したと考える。大学図書館の文献がオンラインで読めるようになると、今後コロナ禍と同様な事態になっても、学生としての研究の基本を学ばせることができると思う。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業研究はこれまでに学んで得た知識とアプローチの仕方を生かしながら、学生各自がそれぞれの専門領域における学習の中で最大の関心事として選んだテーマを明らかにし、その問題への考察を深め、見通しを持って一つの仮説を立ててみる方法に習熟するのは本学習の狙いである。従って、先行する研究の成果を収集する力、それらを批判的に理解する力、仮説を立てる構想力、仮説を論文として展開する力などを養うことに置く。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生による授業評価においては、目標別に見ると、自分なりの目標を達成したことに関しては、全員が比較的達成し、学生からの到達度自己評価は4, 0～5, 0と高かった。知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来たことに関しては、理想的レベルに達した。卒論を書くには論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく、口頭及び論文で述べる能力を習得できている理想的レベルに達していないが、標準的レベルに達している。授業の質評価の5項目は5, 0と高かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置付から見ての内容的妥当性 学科の卒論研究は四年間の集大成の位置にあり、必修である。学生の成績を収めていることから、内容には妥当であると考え。②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 学生が積極的に課題を考え、思考判断として、何を論述するかを確実に把握できたことから成績は上昇したこともあり、内容的には妥当であったと考える

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が5, 0となり、「口頭発表、文章等の学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均5, 0となった。「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均が5, 0と上がった。次年度に向けて、さらにしっかり確認しながら学生の質問を受け付け、答える機会を作り、学生に授業に参加するよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

卒業研究にあたる本学科の位置づけから、四年間の勉強の集大成の形成については、概ね達成できたが、この授業を履修する際にシラバスの活用などを図りたかったが、無視されていて、次年度しっかり確認してもらうことを促していきたい。また、毎回の狙いを具体的に示すこと。可能な限り卒業論文を独特に考慮し、意識的に提示するように改善していきたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」12.5%、他は0%となっており、履修者が「卒業研究」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあることが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は92.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、態度に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、87.5%で、学術データベースの利用に関しては後者は75%となっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されており、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「卒業研修」であるが、「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われますが、教育方法をさらに検討する必要があると考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が各自で選択した卒業研究テーマについて資料収集し、それを自分なりの視点で分析できる能力養成に重点を置いた。授業スケジュールのほとんどがオンラインでの実施であり、学生も資料収集及びアンケート調査など例年になく制約を受けたにもかかわらず、各学生は2週に1回の研究進捗状況の発表に熱心に対応した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生個々のレベル差があるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価についてはやや達成されたとと思われるが、アンケートにおける学習量の評価、情報利用、図書館利用の低さは卒業研究自体の質に関わる重要な課題と考えられ、改善を要する。改善方策については、課題量の検討、研究の質的な向上を常に意識させる。ただし情報利用、図書館利用についてはコロナ禍で制約があった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成状況はやや達成したと判断するが、上記で記述した学習量、情報利用等が課題である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（新約聖書）	1	後期	必修	はい	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、前期に培った旧約聖書の知識を土台として、新約聖書の基礎であるイエス・キリストの生涯と教えや弟子の働きについて理解を深め、キリスト教が世界に広がった経緯について学ぶことを目的としている。新約聖書を土台とするキリスト教の行事についてグループ発表を行い、互いに視野を広げ、最後には1年間のキリスト教の学びの集大成として建学の精神である「感恩奉仕」について個々人が向き合い考えを深められるよう、毎回の授業では聖書の輪読や紙芝居、DVD鑑賞やディスカッション、発表など、様々な形態での学びを工夫した。</p> <p>②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルポートフォリオを導入し、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。チャペルでの学びを、総合的に把握することができるようになった。</p> <p>③学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、一年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何を受け取ったのか把握できるようになった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果は、自分なりの目標を達成した(4.1)、知識理解に関しては(4.4)であった。到達度の自己評価の平均値は(4.0)。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの視聴率約80%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、新約聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標がやや達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「旧約聖書」の学びを踏まえ、展開している。旧約聖書の学びを前提としての発展的な学びとして新約聖書の学びを深めるだけでなく、チャペルや教会訪問を通して全体的に一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 新約聖書の内容を視覚教材を取り入れながら学び、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、学生たちが意欲的に取り組んだ。グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についての平均値は(4.4)であった。遠隔授業においてもチャペルポर्टフォリオを導入したことは、チャペル体験へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をとおして3分の2の出席を必要としている。 本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.8、「学生の意見を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は(4.0)であったが、2年次以降も学生が聖書を開いて日常生活に取り入れられるよう、仕組みを作りたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、旧約聖書を土台に発展的に展開していく上で、旧約での学びが重要である。旧約の復習も講義に加えつつ、通常では、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。今年度ははじめての遠隔であったため大人数ということもあり、グループ発表をすることができなかったが、次年度は工夫して、大人数で遠隔でも発表できる手法を獲得したい。引き続き、学生の興味関心を引き出し、「感恩奉仕」について日常的に意識できるよう促すことが課題である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と文化	2	後期	選択	はい	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キリスト教で学んだ知識をもとにキリスト教に関する視野を広げていく内容である。キリスト教の歴史について概観した後、聖書を土台とした芸術作品を鑑賞したり、文学作品を味わったりすることによって、学生自らの人生に語りかける聖書のメッセージについて考えることができた。今年度は少人数であったので、グループではなく、個人でキリスト教に関するテーマを自由に設定し、調査・発表を行い視野を広げていき、全員が各々の興味関心についてレポートを書くことができた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.1であり、到達度自己評価の平均値は3.7であった。トータルの成績の平均値は約80%以上。聖書を土台として西洋の文学作品・芸術作品に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えよう。また、チャペルレポートの提出やクリスマス礼拝への参加は95%以上であり、コメントカードの内容と感想文の内容から、チャペルや教会訪問を通し、キリスト教の価値観を養うことができる、という行動目標も達成された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察できる。</li> <li>2. キリスト教に関連するテーマを調査し発表を行い、教養を養うことができる。</li> <li>3. チャペルや教会訪問を重ねることを通し、キリスト教の価値観を養うことができる。</li> </ol>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目はキリスト教学を終え、更にキリスト教について深めたい学生が中心に受講している。本学の要となる聖書の内容を学ぶキリスト教学の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであり、文学や芸術に関して幅広く扱っているが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性

著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表を行い教養を養うことができる、という行動目標については、今年度は少人数であったため個人での調査と発表を行った。発表においては、学生同士の積極的な意見交換が行われ、活発なグループディスカッションとなり、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

本講義は、キリスト教の学びをより深めたい学生の興味に応じることが重要である。授業の質評価の平均が3.9であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

講義としては質評価の結果に表れているように妥当であったと言えるが、今年度は急遽、遠隔授業となったため学生のグループ発表をすることができなかった。今後はオンラインであっても、様々な学科の受講生との多角的な意見交換ができるような方法を工夫したい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅡ	1	後期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は1年生配当の必修科目であり、大学生としての学び・研究の進め方について修得するという内容で実施した。このクラスの共通テーマとして「後期近代の生き方を考える」ことを掲げ、後期近代適成型女性であるさくらもこを通してクリエイティブな生き方を探った。これにかかり、以下の工夫をした。</p> <p>①問いの立て方や研究の進め方を確認する。</p> <p>②全国や自地域のみにも留まっていると、課題等が実際には顕在化していても、それらに気付かないことが往々としてある。この点から上掲の共通テーマを基に、俯瞰的、相対的に考える作業を行なった。</p> <p>③全15講の期間中、3回レポートを課し、フィードバックも含めて、一連の書く力を涵養した。内容はいずれも共通テーマにかかることであり、その中において自身の興味関心のあるテーマに向き合ってもらうものである。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない		どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者は38名であり、学年としては2年生2名、1年生36名であった。欠席過多による定期試験受験不適格者が2名出た上、出席していた者についても1名の「不可」の者が出た。</p> <p>授業評価アンケート（回答者15名。以下同）によると、図書館の利用について、図書・雑誌の利用をした者は4名、CiNiiなど学術データベースを利用した者は3名、インターネットを使用し、（一般的なサイトにより）検索などを行なった者はギリギリ過半数の8名であった。出席状況については総じて良好であった。</p> <p>レポートの出来をメインとした総合評価であるが、単位自体は上述の3名を除いた者である35名に付与することができた。その内訳は「秀」7名、「優」9名、「良」13名、「可」6名であった。「秀・優」の16名と「良・可・不可・定期試験受験不適格」の22名とで大別して二極化が起きてしまった。しかも、後者の方が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートによると、「受講動機」は「必修科目である」が15名で100%であった。ほか、「単位数を確保する」が4名、「関心のある内容である」、「GPAをあげる」、「友人が履修している」がそれぞれ1名であった。</p> <p>「到達度自己評価」は10項目あるが、すべて2.9から3.6の間であった（5点満点）。3.6であったのは、「自分なりの目標を達成した」と「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の2項目である。他方、2.9であったのは、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」と「職業選択の参考になった」の2項目である。前者については観光学の細目には踏み込まず、リベラルアーツをメインとした。それが理解してもらえていない者もいることがわかった。後者については、本クラスでは後期近代に対するクリエイティブな生き方をテーマとしたが、具体的な職業については確かにそれほど時間を割かなかった。</p> <p>なお、授業アンケートの自由記述では「本を買わざるをえなかった」旨があった。市中の図書館のでも取り寄せもできるのだが、初動が遅れたのだろう。また、「レポートの書き方がわからなかった」という旨もあった。上述のフィードバックをあまり理解できていなかったのかもしれない。なるべくわかるように何回も言及した方がよいかもかもしれない。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの「学習量の評価」によると、予習・復習の時間とも、した者とまったくしていない者とで二極化した。予習・復習とも7名が取り組み、8名がまったく取り組んでいない。この二極化はそのまま成績の二極化にも繋がっている。</p> <p>ノートについては取った者が11名と、まったく取らなかった者の4名を大幅に上回った。しかし、ノートテイクよりも予習や復習こそが定着に重要だと考える。授業内容だけでも豊富であったとはいえ、まずは上述のように予習復習を行なってもらえればよかったと考える。</p> <p>なお、授業の課題以外に学習に取り組んだとした者は5名であり、1/3を占めた。こうした者が最終成績の「秀」に繋がっていくのだろう。しかしまずは、ノートテイク、そして予習・復習をしっかりすることを期待したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」の結果を見よう。5項目あるが、すべて3.3から4.1の間であった（満点5）。4.1は「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」である。課題に対する明確な目的と丁寧なフィードバックが幾分数字として表れたといえる。3.3は「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」であった。科目担当者としては十分に配慮したと認識しているが、あまりやる気のなかった受講生は相対的にそう受け取っていないことが確認された。まずはより4点に近づけるよう、意識したい。</p> <p>本クラスでの取り組みは「すぐ役立つ」という「派手なおもしろさ」はなかったであろうが、それは学術への基盤となるリベラルアーツ的な素養の涵養を狙ったものだからである。総じて、今後ともなるべく意見の出やすい雰囲気作りや視覚的にわかりやすいよう知的でおもしろい図表・事例を増やし、観光「学」を始め、学術に関心を持ってもらえるよう、さらに深く伝えることができるように努力したいと考える。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅡ	1	後期	必修	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初年次セミナーⅠに続き、大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。年間を通した体系的な授業構成が検討課題である。2クラスに分かれており、基本となるシラバスの内容に沿ってそれぞれの担当教員の裁量で授業展開している。本授業については社会人基礎力の理解と重要性、レポートの書き方および新聞の読み方（情報活用）に重点をおいた。特に新聞の読み方、活用方法についてはオンラインワークショップ形式で実施、その成果を個人プレゼンテーションした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	知識理解 (DP1)、思考判断 (DP2)、技能表現 (DP5) については、到達度自己評価により、到達が妥当と判断する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの学習到達度自己評価では目的をやや達成しているため、DP、CPとの内容妥当性もやや評価できるとする。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>前年度課題であった学習量レベルが低さを課題提出等の工夫によりレベルアップを図ったがさらなる工夫必要と思われる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>初年次セミナーⅠに続き、大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。年間を通した体系的な授業構成が検討課題である</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生涯スポーツ	1	後期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、学期の始講と最終講にて、体力測定と体組成の測定を行ない、授業の運動量と身体組成や健康度との関係の把握と実体験できるようにした。</p> <p>②実技中も全員に準備したカロリー各カウンターを装着して、その一コマの時間の運動量（歩数、カロリー）を記録し、運動量と消費カロリーが把握できるようにした。</p> <p>③始業から3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法と機器の使い方」、「持久性トレーニングの方法と心拍数を基準とした強度設定」、「ストレッチ体操の方法と実用」について講習を行い、授業外に、また生涯にわたり自ら運動処方できるようにした。</p> <p>④各受講者は毎授業時にカロリーカウンターを装着し、目標を持って授業に望む様に促し、自己の運動量の把握させ、強い運動意欲を喚起した。</p> <p>⑤1および2について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるように努めた。</p> <p>⑥生涯スポーツでは、入学直後であることも考慮し、チームのメンバーが固定的にならないように、種目が変わる毎にメンバーの入れ替えを行い、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。チームミーティングを試合前後に行わせ、所属チー</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない			どちらともいえない	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84点 (SD8)であり、再試対象は2名であった。ほぼ平均点は標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものが23名(33名中)と予想以上に多かった。</p> <p>目標への到達度の平均値4.1と高く、知識習得に対し平均値4.3は評価できると考える。</p> <p>授業の質的評価は学習内容が明らかな評価が4.4と高かったが、遠隔ゆえが、話し合うや発表は3.4に留まった。</p> <p>学習の評価では予習、復習をしていない者が13/20と多く、遠隔中の運動に関わる状況として理解できる。</p> <p>情報利用に関して、シラバスを見ていない者が7/20名と例年より少なくなった。遠隔下ではシラバスや、資料が重要になっている状況に則している。</p> <p>図書館の利用は0であったが、ネット利用者は8/20と増えている。</p> <p>欠席する者少なく全員が積極的に受講していた。今後、関心の数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。</p> <p>意欲関心を高めるために、種目やその歴史背景なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われてい</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。遠隔下であっても、学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生が80.0%で、単位獲得目的の学生が50%である。「受講動機」が曖昧な学生も多いが、「学習到達度の自己評価」は100%が達成できたと考えており、人文の学生に妥当な内容であったと考える。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>遠隔下では、物理的に個人種目しか実体験できない。しかし、単体指目の動画において、視点を持って観察する様に促したところ、色々な知識や関心を引き起こせたと考える。それにしても、遠隔時でも可能な運動種目を考案しておく必要を検討した。</p> <p>学生の評価は、遠隔時のストレス解消、これまでになくスポーツを見つめ、知識が膨らんだという意見が多く、マイナスの意見は見られなかった。</p> <p>長時間の座位を強いる状況下の配慮が100分5限授業は健康作りと逆行していることは明白である。改善すべきである。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
女性史	2	後期	選択	はい	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性史の学習を通して、現在に続くジェンダー問題の所在を確認することを重点化し、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響を取り上げながら授業を進めた。初回に女性史を学ぶ意味が「伝統」を疑う知的根拠を獲得すること、そのためにジェンダーの視点で歴史を見直すことを伝え、全講義の流れを、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀までであること確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>明治から戦後に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識を理解することを目標としていたが、歴史に関する基礎知識や歴史的関心の差が学生間で見受けられた。レポート（試験）の結果からみると、授業の内容よりもインターネットなどからの引用に頼る学生もいた。授業の内容が理解不足にある学生は、レポートの評価理由をメールで説明し、史料の使い方についても指導した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

現在の社会経済フォーラムが示す日本の女性の地位の低さの原因を歴史的背景に見出し、産業化と女性の民主化と関連付けて理解できるよう、図表を多用した資料を活用した。おおむね内容的妥当性は認められるが、学生の歴史的知識を個別的にふまえた上で講義を進める必要はあった。一部の学生においては現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題と日本の女性の近代化と結びつけた理解は不十分ではあった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初回の授業で、通説となっている歴史観をジェンダーの視点で見直すと新たな歴史が見えることを伝えた。授業では近現代史が中心であるが、各自の高校までの歴史授業による知識量に格差がある点を踏まえ、高校教科書の図表なども使用し、独自の資料集を作成した。前回の双方向的なやり取りが不足した点は、こちらから質問を投げかけるようにした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

女性史は範囲が広いので、主に日本の近代史を中心に絞り、現在の女性の状況と関連付けて授業を進めたために、学生の関心を現状のジェンダー課題、すなわち固定的性別役割分担意識に集中させることができ、知識の理解を深められたと評価できる。日本の歴史を学ぶことを通して、国際的な情勢を理解し、日本の課題を改めて客観的に考えられるよう思考力を高めるのが課題である。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>文学とは何かという概念を理解することはなかなか難しいものである。文学とは「言葉の芸術である」ことを根幹に置き、人の心、時代背景、歴史観、言語、表現といったすべてのこのを含むものであること、ひいては「生きてゆくために」必要不可欠な概念であることを掴むこと、つまり「文学とは実学である」ということを解くことを主眼とした。そして、その内容を学生が自身と重ね合わせて考えることが出来るところまで到達して初めて、「解釈」という域に達することを講義した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>当初はリモート講義に対する不安が見られたが、徐々に学生自身の学習に対する自覚も見られ、やる気ある態度が全体の活性化につながっているようであった。おおよそ75%までは伸びたように思える。今後はこの調子で考察を深めてゆきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、良かったように思える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>リモート授業であったため、対面とのギャップを感じさせない工夫を進めていった結果、反応はかなり良かったように思う。上質な文学作品に多く触れること、昔と現代の思想の相違を作品の登場人物から探し出すということを、特に気遣いながら進めていった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成状況の総括的評価としては、今年度は80%近いと思われるが、まだまだ伸びしろがあるので、工夫を重ねてゆきたいと考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	桐原 隆弘

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人生と哲学	1	後期	選択	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>徳倫理学、功利主義、義務論、討議倫理を比較しながらそれぞれの基本的特徴を理解し、かつ人生のさまざまな場面でそれぞれの考え方をいかに参考にできるか、日々のニュースなども取り上げながら説明することを心掛けた。</p> <p>受講動機は、単位数確保、内容への関心等であった。具体例を挙げての説明に関してだと思われるが、「例え方が想像しやすくてわかりやすかった」との自由記述回答もあった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>残念ながら若干名の受講生が不合格となった。レポート課題の内容が難しすぎたとのコメントもあった。</p> <p>よく理解できなかったところをインターネットで調べたと回答した学生が複数いた。</p> <p>（毎回の内容を復習するレスポンスをフォームで提出させたため）毎回復習ができたと回答した学生がいた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価は全体の数値としてはおおむね良好で、内容は妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

質評価はおおむね良好であり、進め方は妥当であったと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

目標達成状況にやや難があったが、授業準備、内容、進め方についてはおおむね妥当であったと考える。

若干名の受講生が不合格者であったこと、レポート課題が難しすぎたとのコメントがあったことに鑑みて、もう少し取り組みやすい課題とすることを検討したい。

また今後の課題は、用語そのものが難しいため日常用語に置き換えて説明すること、遠隔でも適宜顔を出すこと、遠隔時の板書（小型ホワイトボード）が読みにくいとのことだったので改善すること、などである。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
比較文化と国際理解	2	後期	選択	はい	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目であるが、科目名は多様な内容を含んでいる。そのため、関連分野の学科に所属する学生はともかく、それ以外の学科の学生にとっては具体的に何を学ぶかをイメージしにくい科目といえる。今回の受講動機をみても「単位数を確保する」を動機とする回答が福祉学科では88.9%、英語学科では73.7%と高い数値が表れていた（一方で本科目名に使われている「文化」に関する観光文化学科は「関心のある内容である」と回答した学生が80.0%であった）。開講時点で学生の多くは関心意欲がそれほど高いわけではないことはある程度想定していた。そこで毎回の授業では異文化コミュニケーションの基礎知識を理解する設問である「確認チェック」を行なった。学生たちが具体的な事例に基づく問題を解くことにより、理論を実践的に捉えてもらう狙いがあった。</p> <p>②本科目の授業では専門的な用語が頻出し、授業への理解が困難となる可能性があるため、毎回の授業の終りに授業内容のまとめ問題を実施し、授業内容の復習を行った。途中からオンライン授業に切り替わったため、毎回の授業の課題としても提出してもらった。</p> <p>③映像を通して理解してもらうため、「差別」そして「異文化対立」に関する動画を見てもらい、それぞれの動画内容について学生自身の考えをレポート形式で書いてもらった。</p> <p>④全14回の授業のうち前半と後半において知識理解を確認するための小テストを実施した。当初は持ち込み不可という条件で行う予定であったが、オンライン授業に切り替わったため、オンラインテスト形式に変更した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は4つの学科にそれぞれ所属する100名近くの学生が受講していた。最終的な成績の平均値は75点以上であり、再試対象者はいなかったため、全員が標準的なレベルに達したと言える。</p> <p>学生の到達度自己評価に関するアンケートでは、「自分なりの目標を達成した」の回答が4学科平均4.0であり、学生自身も本科目の知識理解に関しては達成感があったと考えられる。その一方で学習量の評価では授業前の予習に30分以上かけた学生の回答が半数以下であった。昨年度はテキストを使用しなかったため、学生個人で予習を行うことが難しかったことが原因として考えられる。今年度はその反省もふまえ、学生個人にテキストまたは事前にアップロードするレジュメを使って次回授業に該当する部分を予習してもらう予定である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、総合人間科学の共通科目の位置にある科目である。総合人間科学のカリキュラムポリシーには幅広い教養と異文化理解の基盤を養うことを方針としており、本科目はその方針からみても内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 「知識理解」に関する達成度は4学科平均4.1以上と高い結果であった。「態度」に関する達成度は学科によってバラつきがあり、英語学科が平均値4.3、観光文化学科および看護学科が平均値3.9に対し、福祉学科は平均値3.6とそれほど高い結果とはならなかった。学生たちの成績も一定以上であったことから内容的には妥当であると考えられるが、学生たちに内容に則したQ&amp;Aやアンケートを実施は毎回の授業で行うなど改善の余地はあると思われる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が一部の学科では3.2と低かった。昨年度の課題でもあったため、今年度は学生が話し合う場としてグループ討論を実施する予定だったが、コロナ禍によりオンライン授業に切り替わったことでそれが叶わなかった。オンライン授業形式ではグループ討論を行うことが難しいため、代替案として授業の間にチャット形式でQ&amp;Aに回答してもらい、こちらから質問し学生に音声で答えてもらうといった方法を試みていく予定である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今年度はコロナ禍の影響もあり当初の予定から変更を余儀なくされる授業が多々あった。それでも全体的な成績や、知識理解、態度といった学生の到達度自己評価の平均値のいずれもが前年度より大幅に上がったことは、昨年度からの課題であった学生の知識形成の達成と授業自体の質を上げるといった目標が十分に達成されたと考えられる。</p> <p>課題としては予習ならびに復習時間の向上が挙げられる。この点に関して、今年度は事前にGoogle Meetで次回使用する授業レジュメを掲示し学生にダウンロードしてもらい、次回授業に該当する部分をテキストで予習してもらおうといった方策を行なう予定である。一方で昨年度から継続している毎回の授業終わりのまとめ問題の実施は、今年度も再試対象者がゼロという結果につながった。この方針は今後も続けていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語発展	1	後期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 中国語発展の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の50.0%を除いて、③「関心のある内容である」は100.0%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 受講人数が26名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができました。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、遠隔授業を行うことになりましたが、対面授業と比べて、不足な部分があります。今後の授業において、できる限り学生一人一人と会話できる場面を増やしていくことに工夫したい。</p> <p>4. 今学期のMeet授業中に毎回復習テストを実施することによって、学生の復習姿勢の養成や学生の学習状況の確認ができました。今後も引き続き実施していこうと考えています。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			

  

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 最終的な成績の平均値は「87.53点」であった。【A】評価は「19.2%」で、【B】評価は65.4%で、【C】評価は11.5%で、【C】評価は3.8%であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解、(DP-5)の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わることができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週2～3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットに関心のある内容を自ら調べて学習することを評価するべきです。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、DP-①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.6点で、DP-②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.8点で、DP-⑤「専門分野について、的確に判断する力を得ることができた」は4.4点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、「4.7～4.9」の結果で、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、図書館を利用することが制限されたが、ネットを利用して、学習に補足することがかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用するように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. 中国語発展は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。
4. 中国語発展は選択科目であったが、将来の職業選択の幅をより一層広げて、有利であるために、中国語の検定試験を受けて資格を取得するように、今後の授業指導にも取り組もうと考えています。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル発展	1	後期	選択	はい	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期で習得した知識や学習のコツなどを踏まえて、さらに韓国語に対する知識を深く身に付けられるよう、筆記や会話の練習を取り入れながら分かりやすい授業になるよう心がけた。また、受講動機は「関心のある内容」が9割以上を占めていたこともあり、韓国の社会や文化などにも触れながら授業を進めていくことで、語学の習得と韓国社会や文化への理解の相乗効果が得られたと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては皆が完成度の高い内容の課題を出せるようになった。到達度自己評価の多くの項目において、平均点も中央値も平均4であることから、教育目標は到達したと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義は語学学習を通じて韓国という国、地域、社会や歴史に興味を持ち、言語に現れる文化などの違いを理解し、また、習得した韓国語を実際に話してみることによって、異文化圏の人々との相互理解の一助になるものと考えているため、カリキュラムマップにおける本講義の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないと思う。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。遠隔授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業の作成に臨んだ。結果、授業の質評価では4 - 5の評価が得られた。履修すべき語学の目標レベルには十分に達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講義は、前期で身につけた基礎的学力を踏まえて、発展的な文法知識の習得と日常における実践的会話能力が備わることを目指しているが、講義の履修後も韓国語を継続的に学習し続ける学生が少なくないなか、そうした学生が今後も多く現れ、韓国語によるコミュニケーション力をもって日本と韓国の相互理解を深めていける人となれるよう、今後とも微力ながら努めていきたいと考える。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フランス語発展	2	後期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>志望動機は全体の66.6%が「関心のある内容である」と回答したことから、未知の語学であるフランス語に対する興味・関心・期待のある程度の高さが伺えた。教科書は新しく作った「音から学ぶ」ことを念頭に置いたものを採用し、音をまねる、音とつづりの関係を発見するという点を重視した。Google Classroom内にGoogle Formsによる「理解度チェック」の課題を設け、解説を読みながら質問に答えてもらい、オンラインでひとりで授業を受けるとしても無理がないように留意した。授業の最初はMeetで出席確認するとともに、前の回の復習としてスピーキングチェックを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は76.0点（±45.0点）であり、2名を除いた者が標準的レベルに達した。18.1%はS、27.8%はA評価だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」に関しては95.8%、DP5「技能表現」に関しては63.6%だった。このことから学生の目標は「やや達成された」と判断する。学習量の面では、36.3%が1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行っていると回答した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、内容的におおむね妥当性があったと思われる。授業の質評価において、どの項目も評価は平均から少し高い程度だった（平均値は3.3から3.8、中央値は3.5から4.0）。評価基準はGoogle Classroomでの課題、期末テスト、Meetでのスピーキングチェックであることが明示され、課題の締め切り日が近づけばオンラインでリマインドされるので、提出を忘れることが少なかった。分からないことは各自で何度でもFormsの解説を読み返したり、音声を聞き直したりできる。Meetで直接質問に答える時間もあった。ただし、授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」に対して1名から「少しそうでないと思う」との回答があった。自由記述では「もう少し授業をのばしてもいいと思う。もっと文法などの話が聞きたかった」ともあった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Meetのブレイクアウトルームは操作が煩雑であり使わなかったが、Meetでもっと学生同士が話し合える時間があれば、能力向上につながったのではと思う。また遠隔授業ならではの問題点としては、Formsでの解答でつづりは合っているのに、余計なスペースが空いていたり、理由不明で不正解になることが挙げられる。システムとして融通が効かず、目視でチェックしなければならない点にはもっと注意するべきだった。とはいえ、正解・不正解がすぐに分かるのは学習者にとって非常に明確である。自由記述で「フランス語検定は何級を受けるのが妥当か」との質問があったので回答するが、学習時間50時間以上に相当する5級から受けてみるのが望ましい。ただオンライン授業に移行したことに伴って、当初のシラバスから学習スピードを落としたこともあり、検定試験を受けるには参考書等で補って対策することが必要である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>例年の対面授業では映像を使ったフランスの様々な文化紹介に力を入れてきたが、著作権の関係でそれが叶わないオンライン授業においては、アップした文化紹介の資料がどこまで学習の役に立ったのかが見えづらかった。タイトなスケジュールで授業準備をする中、課題の内容や量は妥当と評価されたものの、レポートや音声提出など、もっと他の課題も考えられたはずだと思わなくもない。今後オンライン授業が続くとすれば、自分なりに得た技術的経験を活かして、サイバー空間に教室を作るイメージで、クラスメートと助け合って課題に取り組みグループ学習に力を入れたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理演習	1	後期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2020年度は遠隔授業(Google Classroom+Meet)で行なわざるを得なかったため、当初、計画していた対面でのMicrosoft Accessを用いたデータベース実習(すべての受講学生のPCにMicrosoft Accessがインストールされていないため)ができず、Excelピボットテーブルを用いてデータの解析の実習を行った。つまり、通常のExcelを用いたデータベース検索、分類の実習と、Excelピボットテーブルを用いたデータ分析を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>受講者9名の成績分布は、100点(S)が5名、90-99(S)が3名、79-70(B)が1名であった。平均点は、94.7点、標準偏差は、9.8であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、関心のある内容であるが88.9%であった。</p> <p>到達自己評価は、9名の平均点で高評価は、（1）自分なりの目標を達したが4.2、（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができたが4.6、</p> <p>（6）自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができたが4.2であった。</p> <p>授業の質評価は、（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであったが4.4、（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであったが4.4であった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>コンピュータの演習を対面授業と遠隔授業で比較することは難しいが、遠隔では、学生の質問の数が対面の時よりも多く、個人授業のように気軽に聞けるようであった。ただ、授業内容があまり高度にできず、理解が早い学生にとっては、物足りなさを感じているような意見も出た。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>2021年度もコロナ禍で、後期の授業も遠隔にならざるを得ないように思える。各学生の理解度によって課題の内容を種々準備する計画である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
北九州の過去・現在・未来	2	後期	選択	はい	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「地域創生」の中の科目であり、2年後期に設定されている。北九州についての基本的な知識を外部講師の講演から学び、そういった状況の中で、自分が学んでいることをどのように生かせるのかということを考えるよう授業を設計した。全学共通で講座が開かれているので、オンラインのポスターセッションを実施し、それぞれの専門分野のことについて互いに学び合える場も設定した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員の最終的な成績が標準的なレベルを超えており、到達度自己評価では9割以上の学生が肯定的な回答をしている。また、レポートや発表なども、専門教育科目で学んだことをこの授業内で学んだことが反映された内容になっており、教育目標は概ね達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP, カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性 本科目は総合人間科学の「地域創生」の中の科目で、2年後期に設定されている。大学がある地域のことについて学ぶとともに自分の学んでいる専門分野をこの地域でどのように生かせるかということについても考える内容となっている。学生の成績についても、標準的なレベルに達していることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>② DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 DPの各項目について目標が達成されていることから内容的に妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、ほとんどの学生が肯定的な回答をしているが、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、あっ票するなど、学生が参加する機会が作られていた」と「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」という項目について、それぞれ3名、5名の学生が「全くそうではないと思う」と回答している。昨年度、予想を遥かに超える受講生であったため、大人数でも実施しやすいように、授業の方法を改善することを考えていたが、遠隔授業となり、また250名を超える受講生であったため、教員からの一方通行の形でしか授業を行うことができず、対応に苦慮した。課題が提出できているかどうか不安に思った多くの学生から一斉にメールが送られてくることがあり個別の対応が難しかったので、課題の提出ができていないかどうかについては個別の対応をせず、提出できていない学生にこちらから知らせるという形にしたが、それを「メールで質問してはいけない」と理解した学生もいて、そのことが大変不安だったということの後で聞いて、大変申し訳なく思っている。口頭と文書の両方で、指示が徹底するよう努めたが不十分であった。次年度は、伝わりにくい部分がないように工夫したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>最終的な成績や到達度自己評価から、地域のことについて学ぶとともに専門教育科目で学んだことを地域の中でどのように活かすかということについて考えることを通して、学びを深めていくという目標はある程度到達できたのではないかと考える。しかしながら、受講生がかなり多いため、授業運営上難しい面も多くあったため、大人数でも支障なく実施できるような方法を工夫したい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域プロジェクト	2	後期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目では、地域を舞台に自分自身が活躍できるようになるために、自らの思考、行動をどのように変革したら良いかについて、深く追究することを目的とし、学生団体を立ち上げたい学生や、地域プロジェクトでこれから活躍したい学生、さらには将来地域創生分野に進みたいと思っている学生に向けた専門性のある講義内容とした。前半は様々な地域プロジェクト理論や事例を紹介しながら講義を進めた。後半は就職課の協力のもと地元企業を知る機会を提供、学生がオンラインで企業に直接コミュニケーションを試みるなどコミュニケーション力の向上と、地元企業の理解を促進した。さらには、企業とのコミュニケーション成果をグループごとにプレゼンテーションさせるなど積極性の向上も加味した内容とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。授業開始に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としては学生の理解度確認と進行状況を常に確認する必要がある。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

地元企業とのコミュニケーションをベースとした地域課題の発見から独自の問題抽出・地域課題解決の企画・提案という授業展開のプロセスは問題なく進化したと考えるが、学生それぞれの課題に対応することが困難であった。また時間の有効活用でも課題が残ったため、学生の本授業に対する満足度から見ると妥当な評価と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

地域課題の発見から独自の問題抽出、地元企業とのコミュニケーション促進という授業展開のプロセスは問題なく進化したと考える。学生の本授業に対する満足度から見ると妥当な評価と考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

就職課の献身的な協力なしでは本授業のスムーズな運営及び学生の満足度の達成はなかったと考えられ、感謝している。関連他科目、例えば地域活性化演習との連動性も検討したい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア開発	1	後期	必修	はい	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初回に、この授業で労働政策や福祉政策、企業の雇用システムとの関連において自身のキャリア形成を考える力を身につけること、多角的な視点でキャリア形成をとらえられるよう多様な外部や内部の講師を招いていることを伝えた。また、初回では、主体的な意識で授業の望めるよう、キャリアコンサルタント(外部講師)から学生と双方向的なやり取りをして、1年生の必須授業として受講を義務付けられているが受け身にならないよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解く力、自らのキャリア・デザインについて考える力は、各講義後のコメントカードや、期末レポートで測った。特に、レポートでは、自分の望むキャリアにおける社会的課題を把握し、その解決方法について主体的に客観的に考えることができるかを評価した。学生は概ね、基準に到達していたが、一部、キャリアをめぐる思考が個人的体験を根拠とすることにとどまり、社会構造と関連づけられない学生がいた。到達していない学生には社会的視野について解説して再試験を実施し、この段階で全ての学生が基準を達成した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考えることができることを目的に、キャリアについての個人の意識がどのように社会的に形成されてきたかを学術的な視点による現状の制度の分析や歴史的背景を解説した。また、多様な講師が講義をすることで、現状把握はより深まったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

講義やDVDの鑑賞に加えて、労働法では弁護士に解説と過労死された方の遺族の話、専業主夫の体験談、本校助産教授による性的自立の解説、本学卒業生の職業生活、キャリアコンサルタントによるワークショップなど、知識を得るだけでなく共感的に主体的に自身のキャリアの可能性や社会的課題を理解できるような内容となった。当初は対面で授業を実施していたが、コロナ感染拡大防止のためにオンラインとなった。外部講師の講義もオンラインでの受講となったが、コメントカードを見る限りでは、概ね学生たちは集中して話を聴くことができたようであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

期末レポートなどから、概ね、学生が自身のキャリア形成について考える時間となったこと、自身の可能性について自信を持てるようになったこと、今後の学生生活の重要性に気づいたことは、評価できる。依然として課題は人数が多いため個別的な対応ができないことであるが、コメントカードの回答に対してメールのやり取りのできた学生はいる。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
実践キャリアプランニング	2	後期	選択	はい	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、自身のキャリア形成のために、様々な知識を身につけておくことの重要性を理解してもらい、担当者の専門である社会学の知見を基にして自身のキャリアについて考えてもらうことを目的としている。アンケートの「受講動機」では「関心のある内容だから」が多くなっており、前年度よりも受講者数が増加していることから、本科目の意義についてはシラバスを通じて概ね伝わっているものと考えられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>遠隔で実施した回においては、講義の内容について感想や自身の考えをコメントするよう求めたが、ほとんどの学生が真面目に受講し、自身のキャリアについて真剣に考えていることが伺える内容であったことから、本科目の目標は概ね達成できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの「自分なりの目標を達成した」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」などの項目で肯定的な回答が多くなっていることから、内容は概ね妥当であったと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>アンケートの結果から、受講者の多くが本科目の予習や復習にはあまり時間を割いていないようである。自己学習に充てられる時間が専門科目優先になるのはやむを得ないし、今年度は遠隔授業により学生の負担が増加した影響もあったとみられる。今後は、自己学習のための要点を伝えられるよう工夫し、効率的な自己学習を促したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>アンケートの結果から、次年度、大幅に内容を変更する必要はないと考えている。コロナの影響で社会に様々な変化が生じている中で、今の情勢に応じた内容の講義となるよう工夫していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ世界遺産	1	後期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目のタイトルに「映画で学ぶ」というのがあるため、遠隔授業になってもそこから大きく外れないようにした。高校時代に地理を学習していた学生が少ないため、地理的なことについては彼女たちが知らないということを前提に詳しく説明をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	受講生75名中「秀」の学生が58名であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>妥当であると思われる。学生のコメントを読んでもと、多くの学生がこの科目を通して、世界遺産のみならず世界の国々のことについて調べている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>かなり多くの学生が「授業だけで理解できた」と答えているが、見方を変えれば、それで満足しているようにも解釈できる。学生が自らもっと発展的に学習する気が起きるような刺激を与えたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>科目のタイトルにある「映画で学ぶ」ことはできなかったが、それを補いながら授業を進めたのが学生にも伝わっているようで、それが学生の成績にも現れている。今度、再度、遠隔授業になっても今回の貴重な経験を生かして授業を進めたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光産業論	1	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」89.7%、「単位数を確保する」44.8%、「必修科目である」13.8%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関しては100%、態度に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、3.4%で、インターネットの利用に関しては、34.4%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光産業論」となっており、観光産業の範囲・特徴及び各産業の実情について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容を心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が93.1%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が96.5%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていくたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光産業論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。</p> <p>また、学生の知識理解を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
航空産業論	2	後期	選択	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・事前学習は、シラバスにも載せており、又授業終了時ごとに次回の授業範囲の読み込みを伝えましたが、アンケートを見ると、実施できていなかったようである。</p> <p>・航空産業に関する情報の収集について、学際的に行うことが重要である旨、今後周知していきたい。</p> <p>・今後、世界の航空会社の動きを政治・経済との関係性をからめて、適宜、説明して行きたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・全体の理解度が非常に高く、試験の結果も大変良かった。レポートの内容も良く調査して書かれたものが多く、今後の実務についた際、必ず活かせるものと信じている。（授業の質評価より：90%以上の履修生より高評価を得た）</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・航空業界は、益々熾烈な戦いとなっていくことは間違いない。そのような中で、いかに勝ち残るか、この授業で学生にしっかり考えてもらいたい。学生の就職先としては、依然、高い希望があり小職の実務経験をしっかり伝え、戦力となり得る学生を育てたい。また、航空会社は、運送業ではあるものの、現在、それだけでは勝ち残れない。サービスと言う付加価値を更なる高品質に仕立てる必要がある。そこには、人間の「感性」を育てなければならない。これは、すべての産業にも通じることで、この授業は、その意味からも妥当であると考え</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・遠隔授業になり、学生もかなりの負担があったと思われる。そのような中、授業における音声が聞きづらいとの指摘があった。毎回、聞こえるかどうかの確認はしていたが、言いづらかったものと思われる。中には、ヘッドフォンを個人で購入し、対応してくれている学生もいた。今後は、モバイルの確認等、改良していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・達成度自己評価から、専門分野の知識は習得してもらっていると史料する。今後は、違った角度から授業を行っている関連の科目を同時履修してもらえよう案内して行きたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ホスピタリティ論	2	後期	必修	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」68.8%、「必修科目である」40.6%、「単位数を確保する」40.6%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は88.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、意欲関心に関しては96.8%、態度に関する問題も96.8%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、3.2%で、インターネットの利用に関しては、59.3%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されており、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は「ホスピタリティ論」となっており、インバウンド観光におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が96.8%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ホスピタリティ論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。</p> <p>また、学生の意欲関心、態度を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行商品企画論	3	後期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」70.0%、「単位数を確保する」65.0%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の9回目、10回目にグループごとにフィールドワークを行い、観光客のニーズに合った旅行商品の企画をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、思考判断に関しては92.5%で、技術表現に関しては、95%であった。目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、思考判断、技術表現での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、2.5%で、インターネットの利用に関しては、75%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「旅行商品企画論」となっており、観光客のニーズの変化を分析し、他地域と差別化できる九州の観光資源及び独特なもの・コトを考察し、九州におけるインバウンド旅行商品の造成を勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が90%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が92.5%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が92.5%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていくたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「旅行商品企画論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光社会学	3	後期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会学の知識を援用し、観光について考察していくものである。観光社会学における専用テキストを使用し、観光社会学の歴史、対象へのアプローチ方法、さまざまな現代的な観光の事象に対する解釈等について講義を行なった。この科目にしても難しいのはポピュリズムではなく、理論について学生にわかってもらうことである。ここに気を配り、全員で考えた。これにかかり、以下の工夫をした。</p> <p>①「社会学」という科目がないため、まずはこの点について多少の時間を使い、説明した。本科目の参考書は、安村克己・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟編著(2011)『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房である。レジュメも同参考書のつくり準じて用意し、予習として予め授業で進みそうなどころまで読んでもらうことで知識の定着を図った。</p> <p>②新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、期末試験は行なわず、3回に渡ってまとまった分量のレポートを課した。内容は参考書で興味のあるトピックについて深めてもらうものである。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講者は62名であり、前年同期の8名より7.75倍となった。学年としては27名が4年生、35名が3年生であった。このように、受講者数が少なくなく、さまざまなグループを形成する受講生が集ったため、理解や態度で二極化も生じた。</p> <p>授業評価アンケート(回答者19名。以下同)によると、図書館の利用について、4名が図書・雑誌の利用をしたが、CiNiiなど学術データベースの利用は2名であった。インターネットを使用し、(一般的なサイトにより)検索などを行なった受講生は8名であった。</p> <p>出席状況については全体としては良好であった。まず皆勤者は0であった。但し、欠席過多により定期試験の受験不適格となった者が1名出た。単位は定期試験受験不適格者を除き、61名中57名に付与することができた。但し、再試験2名の付与を含む。成績としては、「秀」10名、「優」22名、「良」17名、「可」8名であった。このように、32名の「秀」、「優」の者と30名の「良」、「可」、「不可」、「定期試験受験不適格」の者とに二分されてしまった。</p>					
*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>すでに上記の4で示したように、学術に特化した内容であったこともあり、成績もそうであるし、原動力となるモチベーションにしても、受講生の二極化が確認された授業となった。</p> <p>授業評価アンケートによると、「受講動機」は「単位数を確保する」が12名であった一方、「関心のある内容である」も9名であった。「到達度自己評価」は10項目あるが、すべて3.3から3.7の範囲に収まっている（5点満点）。3.7は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象（自然、人、歴史、社会など）を理解する視点や考え方を得ることができた」の2項目であり、やはり学術系の項目が相対的に高い結果となった。3.3であったのは「職業選択の参考になった」であった。本科目は実務科目ではないため、やむをえない。</p> <p>すでに示したように、受講生が二極化し、やる気のないグループの影響も見られた中であつたが、他方で優秀な受講生・そのグループもあり、なんとか落ち着いた状況で授業を行なうことができた。授業アンケートの自由記述では「担当者が一方的に話している」といった旨の記述もあつたが、事実ではなく、このような受講生は学術的な内容における疎外感を持ってしまったのだろうと受け止められる。実務だけでなく、なんとか学術面にも興味を持ってもらえるよう、これからも継続して努力したい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学術的な内容であり、（実務科目を多く履修するなど）これまであまりそうした内容に触れてこなかった受講生には難しかったかもしれない。しかし、意欲ある受講生も一方ではおり、大学レベルの授業内容の体裁を取れた。</p> <p>授業評価アンケートの「学習量の評価」によると、予習・復習も行なった者は5名、他方でゼロは14名であった。少しでも予習・復習（特に復習）に取り組んでもらいたかつたが、2/3はそうでないことになってしまったため、自発的に行なってもらえるよう、内容を噛み砕いておもしろさがよく伝わるよう努力したい。ノートは記録してくれた者が11名、してくれなかった者が7名であり、こちらは多少なりとも取ってくれた者が多い結果となった。授業以外の課題に取り組んだとした者は3名であり、この点で授業以外のことにも目を向けてもらえるようトピック等を工夫するなどしたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」の結果が物語っているであろう。5項目あるが、3.3から4.2とポイントにバラツキが見られる（満点5）。4.2であったのは、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」と「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」である。フィードバックをしっかりと行なっていることが評価された。最低点(3.3)であったのは「授業中に、自分の意見をまとめ、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」である。これは科目担当者としては充分に行なつたと認識しているが、受講生にとっては相対的にそう受け取っていないため、まずはより4点に近づけるよう、意識したい。</p> <p>以上のように、難しいところではあるが、まずは受講生のやる気が二極化しないよう、意識して努力したい。実務では何かをした・得た気になり、学術ではそうした即効性が相対的に感じられないかもしれない。しかしながら、本来は学術が大学という場の中心的要素であるから、これからも問いを立てる、考える、分析する、といった能力を上げてもらえるよう、講義内容やレポート課題についてなお工夫していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	井上 登美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
プライダル論	3	後期	選択	いいえ	58

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教科名はプライダル「論」と示されているが、机上の空「論」にならないよう、できる限り多角的なアプローチを試みた。</p> <p>教科オリエンテーションでは、「プライダル」及びその「職性」に対するイメージを抽出するため、アンケート（レポート）を実施、その上で、教科導入の観点から、参考資料として「DVD」を視聴した。</p> <p>あくまでもシラバスに沿った授業計画、その時々付加要素（視覚的に捉える資料の提示、興味の深度による対話形式等）を展開した。</p> <p>対面授業では毎回、教科への「ふり返り及び教科内容についての要望」の意味で、フリー記述の「アンケート」を実施し、次の授業内容へ加味した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は78点であった。指導不足により残念ながら出席日数不足による失格者1名、最終課題レポート未提出による不合格者1名をみることとなった。その他の成績対象者56名のうち、90点以上が7名（全体の12.5%）、80点以上が16名（全体の28.6%）、70点以上が31名（全体の55.4%）、60点以上が2名（全体の3.5%）であった。</p> <p>評価基準は、最終課題レポートへの取り組み方・内容の深度、グループ（プロジェクトチーム）ワークにおける着眼点・内容の深度・プレゼンテーション、知識理解度を計るミニテストの結果を中心としたものである。</p> <p>授業5回目終了後、知識理解度を確認する為ミニテストを実施した。シラバスの授業計画にも明記、再三の事前告知もしていたが意識をもって準備（試験勉強）してくれた学生はおそらく約半数のようである。</p> <p>授業8回目終了後に第2回目のミニテストを計画していたが、7回目授業から「遠隔授業」となったため、準備不足により実施できなかった。学生もリベンジを考えてくれていたようであるが、申し訳なく思う。</p> <p>学生の到達度自己評価の結果によれば、授業内容へのある程度の満足度・達成感が得られたのではないかと考える。また、自由記述においても、具体的にその旨、示してくれている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本教科は、「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」科目である。</p> <p>学生が興味をもって選択・受講することが第一義であり、また今回、受講動機としても「関心のある内容である」が最も多い。</p> <p>それと同等に「単位数を確保する」という合理的な側面の理由が多いことも否めない。</p> <p>知識・技術教育だけでなく、精神面も成長できるような教科教育が目標である。</p> <p>ただ、前述4 - (2)にもあげたように、学生の到達度自己評価の結果によれば、授業内容へのある程度の満足度・達成感が得られたのではないかと考える。また、自由記述においても、具体的にその旨示してくれており、よって内容的妥当性に問題は無いと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価「説明は理解しやすいものであった」において、3.9という結果であった。</p> <p>対面授業で感じられていた双方向授業の空気感（コミュニケーション）、プロジェクトチームでのグループワーク（プレゼンテーション）が、遠隔授業へシフトしたことにより、大きく変化した。感じ・考えてほしいこと、伝えたいことへのアプローチが脆弱になったと反省している。</p> <p>学生の意見として、遠隔授業開始の際、全員が揃うのを待たず（もしくは通信状況が悪く、途切れて退室した場合も）、授業を続行してほしいとのことであった。</p> <p>状況によりその方向で考えていきたい。</p> <p>また、課題レポートの書式提示が明確でなかったということであった。全員が確実に理解できるよう、早期の段階で明確に提示するよう心掛けたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」科目であり、興味をもって受講し、モチベーションを持続してほしいと考え多角的アプローチを試みた。</p> <p>受講学生の自己評価考えられることとして、授業内容にある程度満足してくれているようである。</p> <p>今年度は、授業回数後半からの遠隔授業へのシフトにより、計画していた授業内容の細部への準備が一部滞り、資料作成に追われた。</p> <p>特にプロジェクトチームを設定（チームメンバーを確定）し、これから対面でミーティングを実施しようとするタイミングでの遠隔授業への移行で、スケジュールや方法がかなり大きく変化した。授業内容における学生の思考判断能力は向上が認められたが、計画していたコミュニケーションやプレゼンテーションの方法が変更されたことにより、技能表現力を向上させる点では、その方法に再考の余地を残す。</p> <p>社会背景や時流を考察した場合、「遠隔」主体の授業形態が必須となるであろう。</p> <p>授業内容は勿論であるが、出席状況の確認、退室者の把握等システムに関すること含め、毎回緊張感をもって臨みたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	若菜 啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディアツーリズム	3	後期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では「観光情報学」「地理情報学」の観点で、授業展開を行うものとし、これまで学んでいる旅行関連の科目を中心とし、ICTの活用法に興味を示し、さらには、グループで制作物を作成することにより、コミュニケーション能力の育成もできるように授業を組み立てた。また、アイデア発想法のひとつであるマンダラートを各個人の考えを伝える道具として利用し、LineWorksによるグループコミュニケーション方法、多言語対応に活用可能なPapagoやVoicetraといったアプリケーション利用方法などを授業に組み入れ、グループ課題に取り組んだ。また授業資料に関しては、オンライン会議システムでの閲覧の他、LMSを利用した資料の提供、振り返りシート、課題提出を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない					どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①SやAに相当する学生数は50%程度、BやCに相当する学生はそれぞれ25%程度となっている。この点数の差異はグループワークへの取り組み、成果作品の差によるものが大きい。グループワークでの進行状況はできるだけ教員が把握可能な方法（Lineworks活用）をとり、各学生の貢献度も加味することとした。</p> <p>②PC操作が苦手な学生ほど学習量が少ない傾向にある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上からの内容的妥当性 これまでに学んだ観光関連科目、情報科目の両方を兼ね合わせたものであり、内容的には妥当である。</p> <p>②DP,行動目標からの内容の妥当性 現在、社会では様々な業務においてDX化が進んでいる。大学教育においても、数理・データサイエンス関連分野の教育も必須にもなっていることから、この観点でも、技能表現の面で、一般生活および観光関連で利用しているIT技術などに興味を持たせることができ、より多くの学生が受講前よりもPC操作が習熟・活用できるようにし、今後も持続的に取り組みたい意向も伺え、内容的には妥当と思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業進行は、毎回の授業評価アンケート調査の結果に基づき、できるだけゆっくりと行った。</p> <p>②グループ課題に関しては、早めにグループ作りを行わせるようにしたこともあり、時間的な余裕を持たせた。</p> <p>③オンライン授業にて、実習を行うことの難しさを痛感している。学生個々のPC (Windows,Mac)の設定において差異が大きく、スムーズにいった学生とそうではない学生の意見が大きく分かれた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>最終のグループ課題のでき具合に影響が出ることもあり課題を残した。熱心に取り組むグループと提出課題の消化という最低ラインのみの学生が多く含まれるグループでの差を検討する必要がある。より発展的に取り組む学生、技能表現分野で他学生を補助してレベルアップさせる学生を如何に増やしていくのか、より興味深い例題などを紹介および実践する必要がある。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
消費者行動論	2	後期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「消費者行動論」は「マーケティング入門」と対をなす科目である。そのためシラバスでも同時履修を推奨している。この科目では企業マーケティングの基本である「消費者を知ること」を主眼としているが、消費者行動論を理解するためには、関連の専門用語の理解が必須である。その解説と理解促進に重点をおいている。授業テキストは特に用いていない。実際の企業経営の中心課題であることは周知の事実であるが、2018年度より本学科のカリキュラム「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置された。その為、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、自治体など団体組織おけるマーケティングと消費者行動理解を促している。また、消費者行動に興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論の初学学生にマーケティング・消費者行動への興味・理解をさせるために新聞・テレビなどの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎年受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。昨年度より授業開始時に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としてはマーケティング入門の関連科目のため、双方の授業内容と進行状況を常に確認する必要がある。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンラインで本年度はできなかったグループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多く(25名)いるため課題内容、レポート内容など工夫したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ブランド戦略論	3	後期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ブランド戦略論は、企業マーケティングの重要な要素であるが、本学科カリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されているが、初学者のため企業経営におけるマーケティングおよびブランド戦略の役割の理解に重点をおいている。また、ブランドへの興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用、理論的かつイメージ的に理解が進むような工夫をしている。学習準備性については、上述のように企業経営分野の初学学生にマーケティング、ブランドへの興味・理解を促進させるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>上記授業準備で述べた通り、初学者なため、あくまで「マーケティングにおけるブランドとは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティング、ブランドの基礎知識としての経営学初学者のため精緻に評価できないが内容妥当性の面では達成できた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

外部講師授業の導入、グループワークの導入など授業の進め方については問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目目標は達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
デザインマネジメント論	3	後期	選択	いいえ	42

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は2018年度からのカリキュラム改訂後の新科目である。デザインマネジメントは現在様々な企業が事業展開する際、デザインの考え方をそのマネジメントに導入しようという概念である。さらにはマーケティング特にブランド戦略論との親和性が高く、学生にもブランド戦略論との同時履修を促している。授業進行に関して重要視したのは、履修学生全員が初学者であるということと、2020年度開始の科目のために学生の理解度の把握に焦点化した。そのため毎回授業コメント（感想、気づき、リクエスト、質問など）を提出させて理解度の把握に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前述の通り、新科目であるため毎週軌道修正しながら授業進行した。オンライン授業のため本年度は予定していた外部講師授業やワークショップ形式授業はできなかったが、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的により実践的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経営学入門	1	後期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」88.2%、「単位数を確保する」47.1%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関しては100%、意欲関心に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、32.3%で、学術データベースの利用に関しては、5.8%であった。図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「経営学入門」となっており、組織とマネジメントの概念や役割等具体的な内容に触れながら、人の強み・弱み、マネジメントとイノベーションの使命や方法及び戦略について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が97%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「企業での就職」をつなぐ要の位置にある「経営学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	堂野崎 融

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
簿記入門	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>簿記は経済的事象である取引を認識、測定し、勘定科目を用いて記録し、貸借対照表及び損益計算書を用いて伝達するための方法である。このことから経済的事象を認識するために記録方法を主体的に学び、その方法を演習していく科目である。</p> <p>しかし、簿記の方法を具体的な知識として定着させるには、経済的事象に結び付けて理解する必要があると考えている。</p> <p>そのため、授業内では、現実の取引において行われている内容について触れ、なぜこのような仕訳があるのか、またこの科目が伝達の際にどのように解釈されるのかといった点も含め説明を行っている。</p> <p>これらのことから、授業準備にあたっては、個々の企業の最新の動態なども含めて説明できるよう準備を行った。</p> <p>さらに、簿記を習得するには、繰り返し学修（予修復修）が重要なため、演習などを宿題等にし、これを毎回提出させていた。</p> <p>これについては学生も自由記述において肯定的な意見をのべてくれていたため、今後も重視していきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価割合は全体としてAが多かったことから、簿記についての知識理解についてはやや達成されたと考えている。また、仕訳における思考判断においても、Aの評価割合が高いことから、やや達成されたと判断する。さらに技能表現についても、最終的なテストにおいても全体的に評価割合に準ずる程度にできていたことからやや達成されたと判断する。</p> <p>以上のことから全体を通して他の平均からみてやや達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>簿記の手法は、万国共通であり、国際的企業及び地域に密着した企業もあることから、その方法を学ぶことは、重要であると考えている。このことから上述の目標達成状況を見るに「やや達成された」と評価できることから、内容的妥当性はあると判断する。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見については、概ね好意的な評価であることから、授業の進め方の方向性としては妥当であると考えている。 しかし、学生の到達度自己評価において中央値が低い値のものが多いことから、これらを改善する必要があると考える。 具体的には、経済的事象についての説明をより増やし、資料等での提示も行っていきたいと考えている。 また演習問題等についても、必要十分条件を満たすものを複数準備したいと考えている。 それによってほかの項目を向上させることが出来ると考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>これまでのことから、経済的事象に関連する配布（もしくは提示）資料及び若干の演習課題を増加によって、全体的な向上が見込むことが出来ると考えている。 特に提示資料及び演習配布資料については、これまでのものを見直し刷新していく必要がある。特に日商簿記検定における新範囲もあることから、刷新は重要といえる。これらの反省を改善点もあることから今後を生かしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネスファイナンス	3	後期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業はビジネス社会で必要とされる企業財務（ファイナンス）の諸事項を扱っている。具体的には企業の資金調達・運用の手法、企業の業績結果および業態を示す決算書の分析（財務分析）など実践的な基礎知識を説明している。例年、本授業に関しては「関心のある内容である」と回答した学生の割合が高い（今年度は66.0%）ため、テキストを中心に会計情報の基本的読み方から指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3と非常に高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.2と高いため、思考判断 (DP2) および技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>自由意見の記述をみると、「会社の安全性」などの内容を知ることができて役にたった」という意見や、また授業の質評価に関しても平均値が4.4点となった項目が3項目あるため、総じて内容的妥当性はあったものと判断できる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>自由意見に「資格試験の勉強」も取り入れてほしい旨の意見もあったため、今後の検討課題としたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本授業は企業財務（ファイナンス）の諸事項を扱っているため、本来であれば簿記の基礎知識を必要とするが、授業内でしばしば基礎知識を説明しているため、学生は事前の知識がなくても授業内容を理解できていると思われる。次年度以降もその点を意識しながら、学生からの意見にあった「資格試験」についても検討課題としたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 克典

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3	後期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>国際ビジネスの理論だけでなく、実際を理解し学んだことを活用できるように、アクティブラーニングを通して、知識の定着に重点を置いた。途中から対面授業がオンライン授業に変更となったが、アクティブラーニングの要素をできるだけ残す工夫を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価全体の平均値が4.3、授業の質評価全体の平均値が4.26であった。また教員独自で作成した毎回の振り返りシートにおける学習者のコメントなどから総合的に判断し、上記評価は妥当であると思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価における(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.5、(10)「職業選択の参考となった」の平均値が4.4であった。また自由記述の内容から、DC、CP、カリキュラムマップにおける本教科の位置づけから見た内容的評価は妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本講座は対面授を想定しアクティブラーニングを取り入れた設計を行っているが、仮にオンライン環境であっても同様の効果を出すための研究が課題であると思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

対面で毎回行っていたグループワークは、オンラインでは難しさはあったが、例えば毎回実施した個人の振り返りレポートや企業や業界の分析ワークなど翌週の授業で幾つかを全体に共有し学習者からコメントを求めるようにした。授業後半で行った個人プレゼンテーションでは10名以上の学習者が自ら手をあげ発表を行い、そこでの質疑応答では活発な議論が行われた。国際ビジネスの実情を知ってもらうために、私が国内外のプロフェッショナルや経営者に対談したビデオを視聴してもらい感想を発表してもらった。これらのことから、本講座では、オンライン環境においても、対面授業と同様の一定の成果があったものと総括する。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際関係入門	1	後期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①履修者の受講動機は、「関心がある内容のため」(86.4%)と「単位数を確保するため」(54.5%)の2つにいつも集中している。前者が多いということは、「国際情勢」に関する教養を得たい学生が多い、ということでもある。ただし、大学の講義においては、現在進行形の国際情勢のニュースばかり扱うわけにもいかないので、今年度も、日中戦争・日米戦争・日米安保など、「現在」を理解するために知らなければならない「過去」の出来事を中心に説明を行った。初回の講義で調査したところ、社会科学系の授業(日本史、世界史、政経など)を履修したことのある学生が少なかったため、「入門」の名のとおり、高校の学習内容からの橋渡しになるようにも心がけた。</p> <p>②「学修準備性」という点に関しては、教科書を指定していないため、予習をすることが難しい科目であったかもしれないが、昨年度は途中からオンラインに切り替わったことで、事前にレジュメをアップし、それを前もって読んできてもらうようにした、しかし、受講者の自由記述回答をみると、「何をすればいいかわからなかった」というコメントが少なからずあり、こちらの指示が届かなかった点は反省しなければならないと考えている。また、担当講師自身がオンライン配信に慣れておらず、この切り替えあたりから、展開のスムーズさがやや失われてしまったという点も反省したい。</p> <p>③映画のワンシーンや音楽を利用するなど、ポピュラーカルチャーを利用した内容にして、受講者の関心を喚起する予定であったが、オンラインとなったため、動画などの利用がいつものようにはいかなかった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		達成された	やや達成されなかった		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>成績評価は、宿題と学期末の試験の2つを柱としていたが、途中からオンラインとなり予定を変更することになった。宿題は国際政治と関係のある英語の歌の歌詞を訳すものであって、ほとんどの受講者が提出し満点であった。期末試験はレポートを提出することになったため、(絶対評価ゆえに)ほとんどが80点以上であり、極端に点数の低い学生はいなかった。採点を甘くしたわけではないが、今年度後期は途中からオンラインになったことで、学生は他の様々な講義で頻繁な課題提出を求められ、こちらとしてもそうした事情を斟酌せざる得なかった。</p> <p>私のところに送付されてきた報告書の2番、「到達度自己評価」の数値で見ると、もっとも重要な指標と思われる「自分なりの目標を達成した」という項目は、「まあまあそうだと思う」以上の合計が100%(自己計算)であり、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」については、やはり「まあまあそうだと思う」以上の合計もそれぞれ100%であった(「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」の合計の割合が高い)。こうした数値から見て、担当講師は講義の教育目標をほぼ達成することができたと考えている。</p> <p>ただ、受講者の「図書館利用」は0%であった。オンラインで大学図書館を利用する機会が制限されたからなのか、理由はよくわからないが、毎講義ごとに文献を紹介してきたので、その意味では「意欲関心(DP3)」は「達成された」とは言えないかもしれない。ただ、イン</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本講義は国際関係に関する知識だけでなく、外国語読解の重要性も強調した。外国語は、文法や単語を詰め込んだだけではうまく解釈できないことも多く、背景文化についてそれなりに有しておく必要がある。国際関係に関する用語を紹介するときは、できるだけ「英語ではこういう」と紹介してきたが、講義後の学生からのコメントではあまり評判が良くなかった（「スノッビズム」と思われたようだ）。なお、私のところに送られてきた受講者の自由記述回答に、「ひとつひとつが興味深く、世界の歴史の背景についてたくさん知ることができました」というコメントがあったが、講師の意図が伝わっていると判断できるのではないだろうか。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容妥当性 受講者がほぼ80点以上をとっている状況を見る限りでは、DP1-1つまり知識理解は、それなりに達成されていると考えられる。以上から、内容的妥当性については、問題ないと考えている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質の評価」の欄は、「説明は理解しやすいものであったか」という項目が最も重要であると考えているが、「まあまあそうだと思う」以上の回答をした者が22人中20人いた。この数字は、学生にとってこの講義が評価されていることの証左と考えている。特に、オンライン形式の講義では、今までのように、黒板で簡単に図示できたことができなくなったため、より多くのパワーポイントを用意して手を尽くした。2021年度もこうした努力は継続していきたい。</p> <p>ただ、「学習量の評価」の欄は、自由記述回答をみると、「授業だけで理解できた」「講義での先生の話聞けば十分だと思った」といった理由を挙げて、授業外の勉強に十分な時間を割いていない学生が多かったようだ（22人の回答のうち、半分近くが予習・復習をしなかったとなっている）。さらなる自己学習の誘因となるようなモチベーションを与えることが重要であると反省している。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今回の授業評価の回答者数は、全受講者数の半分以下となっている。私も回答するよう促す告知を受講者にしたつもりであったが、オンラインであったせいか、うまく伝わらなかったのかもしれない。それゆえ、この数字では正確な受講者の反応を推し量るのは難しいといえるが、この材料を咀嚼して2021年度の講義も続けていきたい。特に、今年度もオンラインということなので、昨年度の反省点（ソフトの使い方に習熟していなかったことなど）をクリアできるようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フィールドワーク入門	1	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、前半にフィールドワークの意義と役割を座学で学び、中盤から後半にかけては受講生が自ら設定した研究テーマに沿ってフィールドワークを含めた調査を行なってもらうという流れで催行した。授業にあたって工夫したのは以下の諸点である。</p> <p>①フィールドワークは1-3名からなるグループで行なってもらった。また、グループごとに、(1)テーマ決め等を含む事前準備、(2)催行直前の調整、(3)催行後の結果発表、の3回に分けて発表してもらった。</p> <p>②成績のメインとなったのはもちろんフィールドワークにかかる一連の取り組みである。</p> <p>③フィールドワークについて最終講に気付いたことや新たな発想・発案を各自でレポートにまとめてもらった。</p> <p>*但し、新型コロナウイルスの感染拡大により、現場に行くのではなく、遠隔での対応（電話、Eメール、インターネットのマップ機能の利用など）を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講登録者は29名であり、前年同期の14名より2.1倍となった。学年は3年生が4名、1年生が25名である。単位は全員が修得した。</p> <p>授業評価アンケート（回答者14名。以下同）によると、図書館の利用のうち、図書・雑誌を利用した者は1名、CiNiiなど学術データベースを使用した者は12名であった。学術データベースについては先行研究にあたる必要があることから、ほとんどの者が利用している結果となった。また、インターネットを使用し、（一般的なサイトにより）検索などを行なった者も12名であり、これも大部分が何らかの文献などにあたっていたことがわかった。</p> <p>出席状況も概ね良好な結果となった。</p> <p>フィールドワークの取り組みやレポート点、平常点から総合的に評価した結果としての成績内訳は次の通りである。「秀」5名、「優」9名、「良」4名、「可」11名。このように、「秀・優」14名と「良・可」15名とで二極化してしまっただことが認められる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>上述した内容からも示された通り、よく努力してくれた者から最低限の努力の者まで幅が生じた。</p> <p>授業評価アンケートによると、「受講動機」（複数回答可）は「単位数を確保する」が最も多く、8名。次いで、「関心のある内容である」が7名であった。ほかに「必修科目である」と「友人が履修している」が2名ずつで、こうした動機ではなかなか意欲が湧いてこなかったかもしれない。自立・自律した考えの下で履修してもらえようほかの担当科目も含め、促したい。</p> <p>「到達度自己評価」は10項目あるが、ポイントはすべて3.6から4.1の間の範囲に固まっていた（5点満点）。最高点である4.1は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の3項目であり、これについては科目の特質を理解し、首尾よく身につけてくれたと言える。3.6は「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」である。グループ内の他者任せの者はこうした項目が低くなってしまったかもしれない。</p> <p>授業アンケートの自由記述では、「楽しい講義」、「深く学べた」、「ありがとうございました」など好意的な旨のものであった。学術の科目ではあるが、少なくとも「悪く書こう」という者は出なかった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目ではフィールドワークについて、知識・実践・有意な経験を授けようと努力されたが、受講生達は上述のように、人（グループ）によって努力の量に差が認められ、成績も二極化した。</p> <p>授業評価アンケートによると、予習については長時間してくれた者から0の者のまで分散していた。復習については、予習ほど時間を割いてもらえなかったが、長時間してくれた者も少数ながらいいた。但し、先に述べたように、本科目の性格上、グループでの取り組みが多かったため、メンバーに依存してしまった者も出た様子である。</p> <p>ノートテイクについてはしてくれた者が8名、してくれなかった者が6名と、ここでも二極化が見られる。但し、授業の課題以外の学習に取り組んでくれた者も5名おり、率先してグループを率いてくれた層も確実にいたことが改めて示された。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」によると、これは5項目あるが、すべて3.5から4.2という範囲の中にあった（最高点5）。最高点の4.2は、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」であった。他方、最低点の3.5であったのは、「説明は理解しやすいものであった」である。担当教員としてはこれについても当然努力したと考えるが、上述のようにモチベーションがいまひとつであった受講生を中心に、それがうまく届いていないこともあったとデータからは読み取れる。その結果、成績も二極化してしまった。確かに単位としては全員に付与することができたのではあるが、たとえ「友達が履修するから一緒に受ける」、「グループで取り組めるので、同じグループ内の友達に任せたい」といった層であっても、しっかり届くよう、今後一層の努力を行ないたい次第である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
イベント・テーマパーク論	2	後期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ツーリズムおよびビジネスの両コースに関連する科目である。そのためシラバスでもマーケティング関連科目、観光関連科目の積極的履修、あるいは履修していることを推奨している。この科目で両コースを選択している学生にとって関心のある科目のため、イベントの視点から地域活性化と観光の視点からのテーマパークを理論的、実証的に理解することを主眼としている。そのため北九州市内のテーマパーク運営会社の協力のもと、グループワークによる企画プレゼンテーションを取り入れてより実践的に理解できるよう工夫しているが、本年度はコロナ禍によるオンライン授業ということもあり、個人での企画プレゼンテーションの実施とした。テーマパークの企画・プレゼンテーションは学生の意見として充実度が高いとの感想があったため次年度以降も取り入れる予定である。授業テキストは特に用いず、担当教員の作成した配布資料で進行しているため特に予習は課していない。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「やや達成された」が妥当と考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域活性化研究	2	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「地域の活性化とはどのようなことか」、「活性化している地域としていない地域は何か」といった点を柱とし、社会学の知識を援用して考察していくものである。これにかかり、以下の工夫をした。</p> <p>①理論と実例を基に全員で考察した。</p> <p>②3回に渡って中間レポートを課した。期末の試験は実施せず、これら3回のレポートに成績の比重を置くこととした。なお、各回のレポートの内容は地域活性化について関心のあるトピックについて深めてもらうものである。なお、受講者数は前年同期の19名から1.79倍の34名であった。単位は欠席過多による1名を除き、33名全員が付与された。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講者は34名であり、学年は全員2年生であった。学術的な内容の講義ではあったが、成績上位の層が厚く、ほかの者もそれに引っ張られる形となり、安定して授業が進んだ。</p> <p>授業評価アンケートの「図書館利用」について（回答者19名。以下同）を見ると、9名が図書・雑誌の利用をしたが、CiNiiなど学術データベースの利用は5名であった。インターネットを使用し、（一般的なサイトにより）検索などを行なった受講生は15名であった。学術的なものになればなるほど利用が少なくなっている様子であるが、しかしそれでも少なからずの者が利用をしてくれていた。</p> <p>出席状況については概ね良好であったが、上述したように欠席過多による定期試験受験不適格者が1名出た。</p> <p>成績は定期試験受験不適格者以外を除き、以下のようになった。「秀」10名、「優」13名、「良」10名。33名中、「可」、「不可」は0であり、「秀」と「優」で全体の70%を占めてもおり、概して芳しいものであった。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>すでに上記の4で示したように、学術に特化した内容ではあったが、上位層を中心として科目の特性を理解してくれたため、授業の展開はスムーズであった。</p> <p>授業評価アンケートによると、「受講動機」（複数回答可）は「単位数を確保する」が11名、次点で「関心のある内容である」が10名であった。「友人が履修している」も6名いたが、自分で価値を確認して履修願いたい。</p> <p>「到達度自己評価」は10項目あるが、2.9から4.0の範囲に収まっている（5点満点）。最高点の4.0は「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」である。学術的な項目が高く出た。他方、最低点の2.9は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」である。科目担当者としては、双方向・多方向の授業を念頭に置いているが、なかなか入ってこれない者が出てしまったと推察する。</p> <p>このように、一般的に学生の理解がある上での授業であったため、授業を行ないやすかった。なお、授業アンケートの自由記述は「さまざまな知識を得ることができた」、「たくさんの資料にあたることができて、とても良かった」、「ありがとうございました」など好意的なものが目立った。今後とも学術的に意義のあるものとなるよう努めたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学術的な内容であり、（実務科目を多く履修するなど）これまであまりそうした内容に触れてこなかった受講生には難しかったかもしれない。しかし、授業の運営自体は上述のようにスムーズに行なえたと考える。</p> <p>授業評価アンケートの「学習量の評価」によると、予習・復習とも、した者が9名、していない者が10名であった。二極化が見られるが、日頃からの学ぶ姿勢の定着を促したい。</p> <p>ノートは12名と過半数がとってくれたが、7名はとっていないということである。また、授業の課題以外の学習については3名が取り組んでくれた。全体として良好なムードの中、授業が行なえたが、このように予習・復習・ノートテイクなどにおいてまったくしていない者も見られた。受講生のやる気の二極化はなかなか難しいことではあるが、本授業のようになるべく優秀層に引っ張ってもらえる展開がありがたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」の結果が物語っているであろう。5項目あるが、3.4から4.2の間であった（満点5）。最高点の4.2であったのは、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」である。類似項目の「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」も4.1と高く、計画的に課題を課していることをよく理解してくれていた。他方、最低点の3.4であったのは「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の2項目である。これらも科目担当者としては十分に配慮したと認識しているが、あまりやる気のなかった受講生は相対的にそう受け取っていないことが確認された。まずはより4点に近づけるよう、意識したい。</p> <p>総じて授業運営がしやすかったが、先に述べたように一部の優秀な受講生に引っ張られてのことでもあった。「すぐによくわかる」というのも大学の本来的な学びからすると危険であり、そうした中、学習習慣のない者をどのように自発的に調べ、考える作業へと向かってもらうかは今後も継続的に検討していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域観光資源開発論	3	後期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は地域に根差す文化や生産物の観光資源化について学び、新しい切り口で地域の観光資源を生み出す力を養うことを目的としている。受講動機によると「関心のある内容である」と回答した学生が68.6%と高いため、地域観光資源の捉え方、着眼点を中心に授業構成をおこなっている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均値が4.2～4.3と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) について達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

受講動機のうち「関心のある内容である」と回答した学生が68.6%と高いこと、また学習到達度の自己評価の平均値も4.2~4.4となっていることから内容的妥当性はあったものと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

授業の質評価において平均値が4.3~4.5と非常に高いため、次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にした授業構成を行う予定である。ただし、シラバスを活用している学生が比較的少ないため、この点については検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業の質評価、到達度自己評価を通して、全体を通しては教育目標は達成されたと判断できるため、次年度以降も引き続き地域資源の着眼点を中心に授業を行う予定である。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用英語	1	後期	必修	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>対面ではないので、学生の発表に対して教師側からの反応が遅くなってしまうことが想定されたので、十分な準備をして最小限の時間で学生の発表にコメントをするように心掛けた。学生は前期の「基礎英語」で授業の進め方を理解していると思われるので、前期よりも少しスピードを上げて授業をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生のコメントを読んでもみると、かなりの学生がしっかりと学習をしていたことが分かる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生はとにかくしっかりと予習と復習をしていたことがコメントからもよく分かる。前期の「基礎英語」に続く科目であり、さらに2年次の「初級英文講読」につなげる科目であり、科目の位置づけを考えて、科目の内容は妥当であると思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の多くがまじめに単語を学んでいたにもかかわらず、急に遠隔授業になったため、それを適切な方法で評価するのが困難であった。今回のように、急に授業方式が変わることを事前に想定しておきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>2021年度は対面授業の予定であるが、今回の教訓を生かし、急に遠隔になっても適切に対応できるように事前に準備をしておくようにする。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Michael Jordan Berg

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英会話	1	後期	必修	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>We followed the textbook fairly closely.</p> <p>Students were occasionally given homework but not usually.</p> <p>At the end of the year they did a presentation which was a play based on the units in the textbook.</p> <p>They wrote and memorized it.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Grades were given based on participation, tests, the final exam and effort exerted.</p> <p>Students seemed generally satisfied with the class, and it seemed neither too difficult nor too easy so I suppose I will continue to administer it the same way next year.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The class was communicative with plenty of opportunities for free discussion however students' levels were such that much care and structure had to be provided.

Motivation included providing a fun atmosphere and positive feedback generally.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Keeping students on task was perhaps the biggest challenge as some would finish tasks early and then - having nothing to do - interfere with the slower students completion of said assignment.

A good way to proceed then would be to seat students next to other students of comparable capability perhaps.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Maintaining a positive atmosphere and keeping the zone of proximal development level ideal is key in these classes but generally the students enjoyed and were challenged by the class, and so I will continue to do it how I have so far frankly.

I should perhaps focus on my handwriting on the board however as it can get messy.

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Leaver Soren Eric

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英会話	1	後期	必修	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、英語を理解し、基礎的な文法を使って英語を話す練習に重点をおいておりました。学生は準備をして授業にのぞんでいました。学生の参加意欲は だいたいにおいて高かったですが、授業日によっては学習意欲が低い日もありました。英語を使って基礎的な会話を少人数のグループでする機会が授業のなかで多く取れたと思います。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体としてのトータルの成績、理解度においてはだいたい達成できたと思います。準備は良くできておりました。インターネットの利用も理解し、課題提出はよくできておりました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生同士で英語での会話に挑戦することで、会話の機会が多くなり、それぞれの実質的な理解度を深めることができました。また文法学習を行い、その後反復して会話を行うことで文法を体感して捉えることができる利点があり、CP上での位置づけは妥当だと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今回の授業では、私の教え方が概ね効果的でした。学生とのコミュニケーションもよくできていたと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

このクラスの全体的な進行には満足しています。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中級英文講読	2	後期	選択	いいえ	52

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期の「初級英文講読」を履修した学生の多くがこの科目を履修しているため、前期よりもレベルを上げるように心掛けた。学期途中で急に遠隔授業になったものの、前期で遠隔授業を経験していた学生たちであったため、前期と同じような授業方法で遠隔授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	約9割の受講生が「秀」の成績であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生のコメントを読んでも、この科目に直接、関係のないことであっても英語関連の学習をしており、1年次の「基礎英語」「応用英語」、2年次の「初級英文講読」と連続した学習をしているようで、科目の内容は妥当だと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業内で学習内容が十分理解できたことコメントした学生が多かった。科目自体が上級者のためのものなので、さらに授業のレベルを上げることも可能だと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業外で学習をしていないとコメントをした受講生が多かった。シラバスでは他の学習についても明記をしているが、授業時にもそれを推奨するようにしたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ応用	2	後期	必修	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>コンピュータを使っている英語教育であり、指導者対受講生の一方通行ではないやり方をできるだけ取り入れている。対面時でもPCを使う授業であり、遠隔になった今回は、更にPC利用の時間的な割合が増えた。具体的には学生一人当たりの学習時間（アクティブに教材にコンタクトする時間）をできる限り増やすことを大切にしている。またPCを媒体に行う単調さを避けさせるために、グループ学習も行っている。受講動機は比率（%）で示すと、必修授業である（93.8）、単位数を確保する（18.8）であり、外圧的な動機付けの方が強いようだが、関心のある内容である（25）、資格取得に必要である（6.3）であり、内発的な動機付けがなされている学生もいる。開講時の学生の学習準備性については、授業で使うE-learning教材を学外でも、スマホでも使えることを説明して、高まるようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価を%で示す。A (18.8)、B (68.8)、C (9.4)、J (放棄) (3.1) である。放棄は別にして、採点対象者32名中の31名が単位を得て、B以上の成績が87.6%だったことは、学生の常日頃の学生の取り組みが実ったと言える。授業評価では、3. 授業の質評価の5項目の平均値は、4.4である。評価は、音読の提出物、Eラーニングの学習記録、オンライン上の客観テスト等で受講開始時期と比較して、終了時には確実に伸びている記録がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>一年前期の基礎英語、後期の応用英語、二年前期のマルチメディアイングリッシュ基礎に続く、そして最後の必修の英語関連科目である。その位置にある外国語の必修科目として、多様な話題を読み、聞くことで知識理解 (DP1) をカバーしている。また自己の考えをわかりやすいように伝えるトレーニングを自主的に行うことも含んでおり、技能表現 (DP5) を伸ばす科目としての位置づけは妥当であると考えられる。授業評価では、2. 到達度自己評価の(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができたは、平均値4.3である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>対面授業時にも、情報演習室でのPCを使つての学習が中心であり、違いのある学習者一人一人に合った学習方法が可能な授業形態であった。「学習量の評価」で、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、9名の意見が寄せられた。そのうち5名は授業で十分だったからと集約できる。また、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として、7名が「英語の本を読んだ」等の意見を寄せていた。非常に好ましい姿勢であり、ありがたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価の2. 到達度自己評価は、最低が(10)職業選択の参考になったは3.6, 最高が(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができたは4.3である。(10)の評価項目とこの授業目的の重なるところが多くはないが、教材に職業に関する内容を含み込むことを次年度は検討したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ応用	2	後期	必修	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>E-learningのCHleruを教材として英語を多面的に学ぶことを目的にしています。マルチメディア教室で学生が各自、PCを使用して自分のスピードで学習できることに大きな利点があります。特に各自の能力にあったスピードで学習が繰り返しできることから、学生一人一人のリスキングの向上と発音の上達を目標としています。具体的にはTOEICの450点レベルのリスキングができ、さらに基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができることです。またディスプレイを見ながら、ブラインドタッチでの基礎的な入力ができることを目標にしています。そのため学生各自のPC学習の監督には特に力を入れ、またリスニング問題のスク립トから文法問題を作成し、授業中に配布実施を行い、学生のリスキング問題への理解度を更に深められるように配慮しています。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は82点であり、再試対象者は0名であった。必須科目のため、DPの評価において、大多数の学生が真剣に取り組んだことが推測される。特に「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「課題を検討する力を得ることができた」「的確に判断する力を得ることができた」「意欲を深めることができた」等を高く評価した学生が多かった。これらはCHleruの内容を繰り返し学習し、文法問題で内容を定着させることで、自分なりの目標を達成できたと実感した学生が大多数であったからだと考えられる。全体的に英語学習に対して前向きに努力する学生が多く、クラス全体も意欲的な雰囲気が形成されたようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性：リスニング力強化を目標に、TOEICや英検などのリスニング対策をあわせて行うことで、ツーリズムおよびビジネスの専門科目の体系的学習を可能とする効果を大多数の学生が体得できたと思われる。②DP,行動目標からみでの内容的妥当性：DPの評価に関しては大多数の学生が各項目について高い評価を示していることから授業内容に納得していると考えられる。ただし「職業倫理や行動規範について学ぶ」「職業選択の選択参考」の項目は、比較的低い評価を示す学生が多く、質問と授業内容をリンクさせて考えることが本科目においては難しかったと思われる。以上のことから総合的に判断し、本科目は内容的妥当性には問題がないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価：「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題の明らかなさ」は評価が高く、オリエンテーションでの説明と授業中での指示を理解していたと考えられる。「説明は理解しやすかった」も評価が高かった。また学生は各自のスピードで学習できる環境から、ゆとりある語学学習ができたことに満足感と達成感を感じていたと考えられる。②学習量の評価：CHleru1500マイル以上の達成を課題にしていたので、予習復習を兼ねて各自でリスニング問題に取り組んだことが、学習量の評価につながったと考えられる。③情報利用：シラバスを参考にした学生は半数であり、シラバスあるいはオリエンテーションに沿って授業を受ける計画を立てた学生も半数以上であった。しかし、シラバスの内容理解にまでは至っておらず、オリエンテーションにおける授業計画を的確に明確に伝える必要性を強く感じた。④図書館利用：今期は途中から遠隔授業となった為に、大多数の学生が図書館利用ができなかった。そのためインターネット等での情報収集を推奨した。オリエンテーションでは授業内容の説明だけでなく、多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであると指導した。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>E-learningのCHleruを教材として、PCで学習するメリットが最大限生かされ、これが学生の自己達成度が高い評価を示す結果となったと考えられる。また、リスニング練習を通して、学生各自が自身の弱点に気づき、改善点を模索するという効果も得られた。さらに多くのリスニング問題に挑戦する姿勢がクラス全体に形成されていたこともプラスに作用したと考えられる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	浅田 壽男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス英語入門	2	後期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>周知のようにコロナ禍による緊急事態で、第6回目の授業から「遠隔授業」に変更となり、授業前に作成済みの各回授業のシナリオや復習の為に小テスト類は、すべて遠隔授業に合せて、急遽作り替えることになりましたが、授業の根幹は授業の形態にかかわらず、次の通りでした。</p> <p>インターネットの発達や世界のボーダーレス化に伴い、高度に情報化し、国際化した現代社会において英語は政治・経済・文化・外交などの諸分野で一層、大きな役割を果たしています。また企業の海外進出、海外の企業との合併といった激変するビジネス社会に対応して、ビジネス英語のニーズも激増しています。このようなビジネス英語を取り巻く環境の変化、ニーズの変化は目まぐるしく、特にインターネット時代に入り、従来の手紙や電信・電話といった通信手段がEメールに取って代わり、ビジネス英語のスタイルや構成にも変化が見られるようになりました。使用したテキストは海外の企業との取引をストーリー化したもので、実例を見ながら、新しいビジネス英語のスタイルや構成を学んでもらうことに重点を置きました。</p> <p>もちろんビジネス英語の基本は、日頃の一般的な英語力であり、また初めての相手との会話や交渉に際してのマナーや心遣い(これらを一般に「プロトコール」と呼んでいます)ですので、授業全般を通じて、英語力の引き上げと同時に、ビジネスに直結する「相手に対するマナーや常識的心遣い」を学んでもらうことを目標にしました。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>遠隔授業の中で2度実施した「授業課題」は、いわゆる復習テストや小テストに相当するものでしたが、それぞれ15点満点で2回トータル30点のうち、クラスの平均点が、設定していた基準の24点(80%)を優に超えてほぼ26点(87%)でした。さらに学期末試験に相当する「学期末課題」では、純粋に英語力を測るTOEIC形式の未知の問題と、ビジネスの世界で必要となる「日本の文化や風習を英語で紹介する」というテーマの自由英作文を出題しましたが、70点満点でクラス平均点がほぼ60点(86%)でしたので、これらを総合して、「達成された」と判断しました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の目標、内容にわたり、DP, CP, カリキュラムマップ上のいずれからも妥当であると考えます。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>急に遠隔授業に変更になったことで、授業レベルをどの辺に設定するのかという問題から、欠席者に対してどのようにフォローするのか、さらには、ごく少数ながら小テストや課題の未提出者などをどのように指導するのかといった困難な問題は、おそらくは永遠の課題ではないかと思いますが、この度の、5回目までは通常の教室授業で、急遽、6回目から遠隔授業に切り替わったことは、受講生側にも教員側にも数々の困難や不自由さを与えたものの、今振り返ると、特に受講生側には教室での通常授業の価値や良さを再認識してもらった好機となった上に、遠隔授業であるからこそ、授業を一層大切にしようとする変化を実感しました。このことは、これまでの教室での授業での出席率や質疑内容と遠隔授業に切り替わってからのそれらとの比較や、さらには課題を通じてのフィードバックの際に、具体的な形として現れました。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>英語力の涵養に不可欠な音声ファイルが入手できるので、テキストと音声が利用できるだけでなく、その音声ファイルのスク립トを別途、作成し配布したことで、完全な語学学習が可能になった今の環境を最大限に活用する貪欲さを、受講生には持ってほしいと思います。授業回数の関係で、教科書の中の3つのUnitを省略しましたが、遠隔授業の長所を利用して、授業終了後、受講生が自習できるよう、全ての模範解答例と日本語訳と音声スク립トをネット上に(Google Classroom上)に掲載しました。</p> <p>授業終了後も、さらに研鑽を積んで自らの英語力を強化し、ビジネスに必要なプロトコルを身につけて欲しいと願っています。特に選択科目では現実の問題として、初回にはテキストを持たず、授業内容の確認に出席し、その後、受講を決めてからテキストを入手する受講生も少なからずいますので、限られた授業回数をさらに無駄にしないように、受講生への理解と協力を求めるとともに、今後も授業内容やその進め方全般に創意工夫を続けなければならないと思います。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用TOEIC演習	3	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>後期最初の一か月間だけは対面授業であり、その時に授業の目的、学習の仕方について、繰り返し説明を行った。その後はすべて遠隔授業となったが、対面授業時に繰り返し行った学習の仕方の指導そのものが効果を上げた。学習準備性については、授業評価の1. 受講動機で、③関心のある内容である(75%)、②資格取得に必要なと④単位数を確保するが共に50%である。内発的な動機付けがかなり強くなされている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>受講生7名の成績評価を%で示す。A(57.1)、B(42.9)。全員がB(優)以上で単位を履修した。3年生以上の選択科目であるが、全員が3年生であり、小人数であることを生かして、個別指導的な機会ももった。高い目的意識をもって受講をした学生が多く、特にキャリアを考えて、この時期にこの科目を履修している学生が何人もいた。そのことが、互いに高め合おうという授業の雰囲気を決定していた。授業評価(回答者4名)で、4. 学習量の評価について、(1) 授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどれくらい行いましたかに対して、⑤6回が4名。また、(2) 授業を振り返るために、1回30分程度以上の復習をどれくらい行いましたかに対して、⑤6回が3名である。受講者7名中の4名の回答ではあるが、意欲的な学生の姿が浮かぶ。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

知識理解 (DP 1) については、授業評価の2、到達度自己評価の9 (2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができたが、4.0である。受講動機は、③関心のある内容であるが75%、②資格取得に必要である、④単位数を確保するが共に50%である。③、②が50%以上であることは、3年次の後期の選択科目として、英語の必修科目が2年後期で終わっていることからすると、学生が英語力を伸ばすためのカリキュラムマップ上の位置づけ通りに、学生が履修してくれていることがわかり、内容的妥当性もあると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の自由記述意見には、4. 学習量の評価 (4) 授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「課題だけで十分だと考えたから」がある。確かに授業を中心として学習がきちんとなされていれば、十分だったのであろう。、4. 学習量の評価 (4) 授業の課題以外に具体的に取り組んだ学修として、二名がTOEIC受験をあげている。3回受験した受講者もいる。3年生であり、目前の就職活動を念頭に置いて、この授業を活用していた。たまたま本年度は非常に意欲的な学生が集まったことが、雰囲気の良い授業をもたらせることになった。3. 授業の質評価は、5項目の平均値が4.28である。このような授業が毎年開講されることが願われる。改善するとすれば、受講生にふさわしいテキストを選択すべきだということである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7名の受講生だった。良い機会であり、もう少し受講生が増えてもらいたい。次年度からは、3、4年生と履修可能な学年が増えるので、受講者増を期待したい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用英語通訳ガイド演習	3	後期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This continuation of the first term course focused on providing students with an opportunity to improve their ability to explain Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 2 criteria (class tasks and participation 75%, and a final test 25%). The majority of students received scores in the 70s and 80s</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Student interest was evident, and the skills being practiced (DP4) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include more frequent homework assignments and quizzes to improve student focus. In addition, more preliminary writing practice using the target language should improve the average student's skill level.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

I feel that a class limit of 30 students would allow for a more productive student/teacher ratio, and more focused classroom energy.

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・特殊な英語表現が多く、通常の英語とは分けて理解させること、および間違っ覚えて記憶しないよう注意した。今後も、実務に即した航空英語の理解を深めるため資料の作成を行っていきたい。</p> <p>・この授業では、特殊用語が多く、通常の参考書が無いため資料の作成に努め、用語の一覧を授業開始時に配布し、それぞれの用語の解説と、実務で使用する時と場を解説した。これにより、自己評価においては「知識の確認、修正、新たな知識の習得」が出来たと履修生の94%が評価している。これは、単位取得のために履修した学生であっても、より興味を持って受講してくれたものと思料する。さらには、この知識を活かせる環境を持った就職先を考えている学生にとってはなおさらであると思料する。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・授業中に行った特殊用語の理解のテストや、記述式テストにおいて理解度が非常に高いことが確認出来、結果、期末試験においては、A・B評価が80%を越えた。</p> <p>・学生の方も、授業の評価を、(1) 4.0、(2) 4.1 と評価してくれた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・即、戦力となる人材を欲する企業としては、あらかじめどのような業務上の基礎知識が必要かを理解している学生にはより多くの関心を示す。他の学生とは必ず大きな差がついている。本科目は、関心のある内容として、57.4%の学生が選択しており、自己評価の部分でも、意欲や習得する力を得た等の評価が、3.9~4.0となっており、航空業界のみならず、今後の就職先選択に寄与するものと思料する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・特殊な授業であり、参考書も多くなく、自分からどのように学習してよいか分かりずからったと思われる。今後も、参考書が出てくる要素も少ないことから、「用語の解説」、「現場での使用」に重きをおき、一つひとつ丁寧に解説していきたい。  
・遠隔授業の特殊性として、利用しているモバイルの違いで、時々不具合が見られたが、私自身の所持しているPC等も機器の購入や、改善を起こさない、快適な環境づくりを」行っていく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・本科目の目指す、「エアライン英語」の理解、現状の航空業界の実情知るなど、上記で述べた通り、大変良く理解に努めてくれた。エアラインの業務は、特殊な業務ばかりである事から、接客業務を中心に、技術系の業務は、運航業務とそれに付随する整備でまともだと考える。  
・参考書が少ないことから、今後、資料作成を多くして行きたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初級中国語会話	1	後期	選択	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年生を対象とする授業である。学習者が中国語を初めての学習するので、中国語の特徴と学習方法を説明した。中心に中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して、中国語の話し方、習慣の表現などの特徴を理解し、基本的応用能力を身に付けてもらった。更に中国語の理解を深めるために、中国の文化、社会、歴史等を適宜に紹介した。学習者の学習への意欲を向上させ、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89点であり、再試験対象は0名であった。全員標準レベルに達したが、理想的なレベル（概ね90点以上として試験を作成）に達した学生は29名だった。学生による到達度自己評価においては、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均4, 0となった。授業の質評価においては「説明は理解しやすいものであった」は平均4, 0で、後の4項目は5, 0が高かった。次年度に常に学生を中心に、授業を取り組んでいかないといけないと反省点であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容妥当性においては、本科目は「専門基幹科目」を繋ぐ必要の位置にあるので、内容的に妥当であると考えます。DP行動目標から見ての妥当性においては、異文化への理解の向上をアップすることができる内容であると考えます。授業の質評価においては、「授業の説明は理解しやすいものであった」は4, 0となり、「テスト、提出物等の評価基準は明らかであった」「授業時に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「学生の質問を受付、それに答える機会が作られていた」は5, 0と高かった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」等の項目の平均が5, 0と高かった。次年度授業の改善点としては、学生に練習させる時間を多く作らなければならないと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育課科目にある中国語に関する能力育成科目の入口にあたる本科目の位置付けから、基礎的な知識の形成については概ね達成できたが、コミュニケーションの能力の面に課題を残した。この点は学生に中国語で作文等を書いてもらう練習を通して、効果がはっきり示されているので、次年度より綿密に実施していきたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コミュニケーション中国語	1	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. コミュニケーション中国語の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の36.4%を除いて、③「関心のある内容である」は100.0%で、⑤「資格取得に必要である」は72.7%であった。学生たちが語学の必要性を認識し、将来の職種の選択幅をより広く構想していることを示している。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 受講人数が16名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができました。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、遠隔授業を行うことになりましたが、対面授業と比べて、不足な部分があります。今後の授業において、できる限り学生一人一人と会話できる場を増やしていくことに工夫したい。</p> <p>4. 今学期のMeet授業中に毎回復習テストを実施することによって、学生の復習姿勢の養成や学生の学習状況の確認をできました。今後も引き続き実施していくと考えています。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>1. 最終的な成績の平均値は「88.18点」であった。【A】評価は「43.8%」で、【B】評価は50.0%で、【C】評価は6.3%であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル(定期試験及び平常点の総合として80点以上)に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解、(DP-5)の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わすことができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することが評価するべきです。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、DP-①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.5点で、DP-②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.6点で、DP-⑤「専門分野について、的確に判断する力を得ることができる」は4.6点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、「4.6～4.8」の結果で、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2～3回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、図書館を利用することが制限されたが、ネットを利用して、学習に補足することがかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. コミュニケーション中国語は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。
4. 中国語発展は選択科目であったが、将来の職業選択の幅をより一層広げて、有利になるように、中国語の検定試験を受けて資格を取得するように、今後の授業指導にも取り組もうと考えています。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
上級中国語	2	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目にあたる上級中国語は観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。中国語の総合的な能力の養成に重点を置く。具体的には中国語の会話、基本的文法を学習した上に基礎的な能力、表現能力等の総合能力を養成ための科目である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試験対象は0であった。全員が標準的なレベルに達したが、理想的なレベルは26名となった。学習による授業評価において、3, 0～4, 0 とやや低かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP,CP,カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて、本科目は専門教育科目であり、中国語通訳ガイド演習等の科目につながる科目である。学習者の総合的な専門分野の理解に応えるので、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」等の5項目の平均値は4, 0とやや低かったが、教科書がやや難しいことや、復習予習時間が想定より少なかったことが原因であると思われる。次年度学生に事前に予習復習を徹底するように促したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>専門教育科目にあたる科目の位置づけから、基礎的知識の形式については、概ね達成できたが表現力、総合応用の面に課題を残した。しっかりと復習する時間が少なかったため復習予習課題の提示等で改善を図りたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ツーリズム中国語	3	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目はツーリズム中国語および旅案内のノウハウを学習するものである。学習者に旅案内に必要な丁寧な言葉使い、はっきりとした発音を身につけ、中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解してもらうことに重点をおいた。</p> <p>②今年度はコロナの影響で、当初の授業計画をやむおえず一部を変更したが、ネットの利便性や学習者がデジタルネイティブであることを活かした授業ができた。また、残念ながら実地練習はできなかったが、パワーポイントを使って発表させることで、学習者は写真やイラストを使って、練習することができた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習者全員各課で学んだ知識を応用し、パワーポイントを使用し10の場面において自分が住む街などをガイドすることができた。</p> <p>②「学習量の評価」においては、大多数の学生は⑤の6回を選んだ。</p> <p>③「学習到達度の自己評価」の(1)の平均値は4.3で、(2)は4.2で、(3)～(8)の項目は4.1で、(9)、(10)の項目は4.0であった。</p> <p>以上3点から上記の評価は適切であると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は観光文化学科の専門教育科目であり、重要な位置を占めている。旅案内に必要な語学力やノウハウをしっかりと身につけ、さらに中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解させることができた。内容が妥当であったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 「受講動機」として、「関心のある内容である」が78%で、「単位数を確保する」は61%であった。</p> <p>③「学習到達度の自己評価」の10の項目の中央値はすべて4.0であった。 以上から、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について、つねに学習者とコミュニケーションを取り、確認しながら進めることができた。 「授業評価の指標」の5の項目の平均値は4.3以上であった、学生からは「オンライン授業とはなりましたが、対面での授業と変わらずわかりやすかったです」とコメントがあった。 以上から、授業の進め方に問題はなかったと考えられる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>コロナの影響で、突然遠隔授業になったが、オンライン授業の教授方法を研究し、多人数のクラスであったが、「授業の質評価」5項目の平均値がすべて4.3以上だったことなど総括的に見て、高い授業効果が得られたと評価する。来年度はこの経験を活かし、デジタルを活かしたより高い授業効果が得られるように頑張りたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目では欧米の中において特に東欧の観光文化地理について授業を行なった。東欧（あるいはさらにその各国、各都市の）観光文化、社会、地理などの形成と特徴について詳細に論じた。東欧は学生達にとっては西欧と比べあまり身近でないようであるので、少しでも知っているようなトピックを提供することにより、興味関心を喚起するよう心掛けた。授業にあたっては以下の工夫をした。</p> <p>①東欧については日本のメディアにもあまり取り上げられず、（特に世界史を学んでこなかった学生にとっては）あまり馴染みがないどころかイメージすらしづらいのではないかと考え、授業の前提として歴史や政治経済、社会についての概説を前期の「欧米観光文化地理Ⅰ」で取り上げた西欧よりも入念に行なった。</p> <p>②3回に渡ってレポートを課した。内容は東欧における観光事情についてであり、観光ルートの提案を示してもらうなど調べるだけでなく、考えてもらう作業も行なってもらった。</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大のため、前年度まで行なっていた期末試験は、この年度は行なわなかった（その分、レポート数を2回から3回に増やした）。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者は全19名であり、学年としては4年生が16名、3年生が2名、2年生が1名であった。なお、前年度の当科目より5名減であった。学生の授業参加度は人、あるいはグループによってかなりの差が見られた。積極的な学生もいれば、何も発言せず、レポートもいまひとつな学生もいた。後者にもなるべくわかりやすく、興味が湧くように講義を行なったが、なかなか主体的な参加が見られなかったのが残念である。</p> <p>授業評価アンケート（回答者4名。以下同）の図書館の利用状況によると、図書館の図書・雑誌を利用した者は1名、CiNiiなど学術データベースの使用をした者は2名であった。インターネットを使用して検索などを行なった者は3名と過半数を超えた。</p> <p>出席状況については、皆勤は12名(63%)であった。ほか、1回欠席が3名など、全体として良好であった。出席日数不足による定期試験受験不適格となった者はいなかった。</p> <p>既述したように、本科目ではかなり人によって積極性に対する違いが出た。単位は19名中18名に付与することができたが、但し、再試験による合格の者3名を含む。成績の内訳は「秀」8名、「優」2名、「良」1名、「可」7名であった。このように「優」、「良」が少なく、両極端な成績となった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>すでに上記の4で示したように、授業参加度は人やグループによって大きな差が生じていた。授業は学生と教員双方の協力で成り立つものであるから、参加度が低かった学生にはもう少し努力をしてもらいたかった面はある。もちろん授業参加度が高かった学生は良好な成績を得ている。</p> <p>授業評価アンケートによると、「受講動機」は「関心のある内容である」が3名で選択率75%であった。次いで「単位数を確保する」が2名で選択率50%であった。「到達度自己評価」は10項目あるが、すべて4.3から4.5の間の評価であった（5点満点）。最高である4.5は「自分なりの目標を達成した」と「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の2項目であった。そのほかの8項目はいずれも4.3であった。全体として高い数値となったと考える。</p> <p>授業アンケートでは「授業内容で十分と感じた」とあり、授業内容の濃さ、難しさが示されている。これが、積極的な学生には功を奏すが、消極的な学生には負担となる。授業レベルを落とすことは良心に反するため、難しい。授業内容の濃さ、調べたり考えたりする難しさをキープしながら、おもしろい授業をするのはなかなか難しいことであると示される。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業で取り上げた東欧は学生達にとってあまり馴染みのある地域であるとは言えないが、上述の5のように、関心のある学生の比率も低くはなかった。そうした学生達は欧州という括りで捉えてくれたのかもしれない。授業を誠実に受講し、積極的に参加してくれた受講生もいる一方、どうしても参加度の芳しくない学生は出てしまった。授業内容は本来、日頃の予習・復習は欠かせないものであった。また、中間レポートを2度、加えて期末レポートも行っており、学修へかかる労力も少なくはなかったのではないかと考える。授業評価アンケートによると、予習時間・復習時間とも1時間半から3時間を使って取り組んでくれた者もいた。しかし、まったくゼロもあり、上述したような学生のモチベーションについて難しさがある。日頃より（できれば自発的に）学修に取り組んでもらえるようさらなる工夫を考えたい。一方、ノートテイクをした者は4名(100%)であった。ノートを取るという最低限のことはしてくれており、今後も教員・学生双方の努力により、消極的な学生も巻き込んで、より白熱した授業を作っていきたいと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示してください。</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」の結果が物語っている。5項目あるが、すべて4.3であった（最高点5）。特に「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」といった参加重視のアクティブラーニング型を全授業で目指しているため、この項目の評価が高かったことはよかった。また、「説明は理解しやすいものであった」の高評価も素晴らしいと考える。しかしながら他方で成績の「可」もが7名、「不可」が1名出たという消極的な学生にどう対応していくかが問われる。全員に知的好奇心を充足してもらったとは言えない状況であることが課題である。今後とも継続してなるべく意見の出やすい雰囲気作りや視覚的にわかりやすいよう写真等を増やすといった努力をしたい。積極性のある者だけにわかりやすいだけでなく、学修に関心のない学生にも振り向いてもらえるような説明、話題作り我真摯に取り組んでいきたいと考える。</p>
--------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理 II	2	後期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」81.8%、「単位数を確保する」54.5%となっている。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は90.8点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、技能表現に関する問題は90.9%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、10%、68.1%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理Ⅰ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅱ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ欧米文化	3	後期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目が開設されて最も少ない人数の受講者となったため、きめ細やかな授業をするようにした。これまで文化関係の授業を受講してきた者が少なかったため、基本的なことから教えるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ほぼ全員が「優」か「秀」の成績であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

文化関係の科目が少ない中で、この科目だけで文化全体を指導するのは困難であり、科目の内容が妥当だとは言えない。学生のコメントを読んでみても、この科目の目的を理解していないようなものが多かった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「映画で学ぶ」となっているにもかかわらず、遠隔授業となってそれができなかった。そのこともあり、学生がこの科目について十分に理解していないようであった。学生から不満の声は上がらなかったが、一部だけでも映画を見ることができる方策の検討をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

遠隔授業のハンディが大きく、当初予定した内容の授業ができなかった。今後は、いつでもそのような事態が生じる可能性があることを念頭において事前準備をしっかりと行いたい。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論Ⅰ	2	後期	必修	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は北九州市総務局女性活躍推進課との連携で行った。受講生の関心度の高さが示すように間近に迫っている就職活動への準備喚起と何よりも学生自身のキャリアデザインの重要性、「働く意味」、「企業とは何か」を理解する点に重点を置いている。福岡県内特に北九州地域の様々な業界で活躍する外部講師によるリレー講義と担当教員によるキャリアデザイン理論で構成した。なお、本年度は就職課との連動・協力のもと授業展開した。外部講師は業界の現状、仕事での経験、就職活動のアドバイス（求められる人材）等の内容構成とした。授業での重点は学科特性と受講生の興味等を勘案しての講師手配である。この科目の性格上学習準備性は特に意識していない。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの「到達度自己評価」から「達成された」が妥当と考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの受講動機、到達度自己評価（1）（2）から内容的妥当性はあると考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>科目の性格上「授業の進め方」については各講師に一任しているが問題は無いと思われる。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学科特性と受講生の興味という点での講師選択は一定の評価はされていると思われる。今後の課題として、インターンシップとの関連性（インターンシップ先企業への依頼等）があげられるため、同時履修が望ましい等シラバス表記の検討も必要である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論Ⅱ	3	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は就職活動を半年後に控えた大学3年生を対象に、就職・キャリア支援を主として実施している。具体的には各自の自己分析をおこなった上で、ES（エントリーシート）作成の基本を理解し、集団面接・集団討論についてどのように取り組みべきかを学ぶ。なお、受講動機をみると「関心のある内容である」という割合が71.9%と非常に高い。そこで、授業においては実際に模擬ESを作成して頂き、どのような点が評価され、また評価されないのかを詳しく説明すること主軸をおいた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価によると、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」と「職業選択の参考になった」の平均値が4.3と非常に高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4) は達成されたと考える。一方、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」という項目は平均値が4.0であったため、技能表現 (DP5) はやや達成されたものと考えている。DP項目中、半数以上が達成されたものと判断できるので、全体としては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由意見の記述をみると、「とても役に立った」、「授業自体は非常に勉強になった」などの意見が多く、また授業の質評価も4.0～4.3と平均値が高いため、総じて内容は妥当であったと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本授業は学生のESの書き方を指導し、また集団討論などの練習をおこなったが、「遠隔授業」での実施が難しかったことや、履修している学生のESをチェックしていくのに膨大な時間を費やし、時間通りに終わらず延長することがしばしばあった。そこで、次年度以降は時間内に終わるように時間配分を考慮し、また内容についてもあまりESの添削に偏らないように心掛けるつもりである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体としては教育目標は達成されたと考えられるものの、時間内に終わらず、しばしば授業を延長した点については次年度以降の課題と考えている。履修している学生全員のESを添削すると時間内に終わらない可能性があるため、この点についてはさまざまな工夫のもと検討したいと考えている。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ツーリズム演習	1	後期	必修	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」94.7%、「関心のある内容である」21.1%、「単位数を確保する」15.8%、「友人が履修している」5.3%となっているが、もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は87.8点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては、100%、思考判断に関しては、100%、意欲関心に関しては、100%、態度に関しては、100%、技能表現に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、5.2%で、インターネットの利用に関しては、31.5%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「ツーリズム演習」となっており、九州と上海を研究事例として、観光マーケティングとインバウンド観光の理論を学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容を心掛けており、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「説明は理解しやすいものであった」と思っている学生数が95%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ツーリズム演習」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ツーリズム演習	1	後期	必修	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では九州と上海を事例とし、観光マーケティングの視点から九州を訪れる観光客数の動向を理解することを目的としている。受講動機をみると、「関心のある内容である」と回答した割合が38.2%と比較的低い。そこで、例年九州の具体的な観光資源を織り交ぜ、学習の動機付けを図りながら説明をおこなっている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.4と非常に高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.2～4.3と高いため、思考判断 (DP2) から技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習量の評価をみると、「九州について調べたり、中国との関わりを調べたりした」や「世界遺産検定の勉強をおこなった」など、学生が自ら主体的に調べる動機付けになっていることから、授業の内容的妥当性はあったものと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上記のように、教育目標は達成されたと判断できるため、引き続き次年度以降もわかりやすい授業を心掛けたい。また、授業を受けるにあたりシラバスを参考にしている学生が比較的小さいため、この点についても授業時に指示するなど検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本授業は、本学科が実施しているインバウンド観光研修や外国人観光客との異文化交流の基礎となるため、その点を常に意識し、次年度以降も教育目標を達成できるようにさらなる授業の工夫を行う予定である。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域活性化演習	2	後期	必修	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は本来であれば企業とのコラボを通じ、地域活性化について実践的に学ぶ機会となり得たが、昨今の新型コロナウイルスの影響により、座学に切り替え、地域活性化の国内研究のレビューを中心に授業を再構成した。学生がさまざまな地域活性化の手法や事例について学べるように、授業を発表形式にて行うなど工夫をおこなった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3と非常に高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.0～4.2と高いため、思考判断 (DP2)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>自由記述の意見をみると、「資料作りをしていく際に、基本の書き方や地域活性化の研究方法をわかりやすく教えてもらって良かった」、「他の学生の発表を聞く機会があり非常に勉強になった」との意見が多かったことから、内容的妥当性はあったものと判断できる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の質評価の平均値は4.3~4.4と非常に高いため、授業の進め方については妥当性があったものと判断できる。ただし、シラバスを活用した学生の割合が少ないことから、この点については次年度以降の検討課題としたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全体を通しては教育目標は達成されたと考える。</p>
-------------------------------	-------------------------------

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	後期	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期の「専門演習Ⅰ」では観光について理論的なことを学んだが、後期のこの科目では、その理論を実際の現場に応用することに重点を置いた。しかしながら、新型コロナウイルスのために現場に行くことができなかったため、なるべくリアルな体験に近いものができるように、授業内容に近い動画を探して見せた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>遠隔授業で本来考えていたことの大半ができなかったにもかかわらず、全員が「優」または「秀」であった。ただし、現地に行けなかったため、「技能・表現」については予定していたレベルには達していないと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生のコメントを読んでもと課題を提出するのに手いっぱいだったようであり、総合的な学びができたとは言えない。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で現場に行けなかったことが大きな課題であり、バーチャルリアリティで体験をさせたいと考えている。全員成績は良かったので、学習の習慣づけはしっかりできたように思われる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>受講生はそのまま「卒業研究」の受講生となるので、「専門演習Ⅱ」でできなかったことについては、引き続き指導を行うことにする。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	後期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①専門演習Ⅱは4年生の卒論研究教育への円滑に行うための研究演習教育として位置付けに置かれている。まず視野の広げ、考える力、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらう。ゼミに所属して、専門的に学ぶ。「研究」「多読」「レポート作成」「プレゼンテーション」「発表」等により実践的な力を身に付けることを目指す。</p> <p>②異文化、地域社会への関心及び貢献できるように、外国の総領事館や企業、放送局などの訪問、見学を通して、現代社会の動きを把握してもらう。</p> <p>③昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを実施した。学習者の関心事を再確認した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は80であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上として総合的に判断作成）に達したものは5名と限られていた。目標別に見ると知識理解、思考判断に関する問題は自己評価にあまり差がないことが示された。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見る内容的妥当性。本科目は専門演習科目である。卒業研究を繋ぐ要の位置にある。内容的に妥当であると考え。学生の到達度自己評価において、10項目ですべては5、0と高かった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」等の項目の平均が5、0と高かった。コロナ禍により学校外への実践時間が想定より少なかった。学生からの質疑応答においては「口頭、文書等学生の質問を受付、それに答える機会が作られていた」5、0と高かった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>専門演習Ⅱは専門的知識の形成、考える力、判断力、分析力、実践力の養成に重点を置くが、概ね達成できた。なお、ゼミの担任として常に綿密に連絡し、指導をしっかりと必要があると推察した。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	後期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」91.7%「単位数を確保する」16.7「関心のある内容である」「GPAをあげる」「友人が履修している」それぞれ8.3%となっているが、他の項目は0%となっており、履修者が「専門演習Ⅱ」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあることが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は95.6点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、66%で、インターネットの利用に関しては、83%で、学術データベースの利用に関しては、10%となっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されており、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門演習Ⅱ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」と思っている学生が100%であり、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	後期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

前年度の課題であった就職活動指導とマーケティング理論の基本的理解、課外活動との時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったため計画通りに遂行できた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目達成状況としては概ね達成と評価するが、上記の通り、マーケティングの基本学習量の確保・向上と就職活動指導の計画の時間的配分が課題。

リフレクションカード 2020年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	後期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習は、卒業論文の作成を視野にそのテーマ決定のための準備段階として位置付けている。具体的には「観光ビジネス」、「観光経済」、「地域活性化」といった分野に関する国内外の論文を輪読し、議論を通じて知識の整理や理解を深めていくことに重点を置いている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.5であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.3～4.5と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「卒論を書いていく上での題材探しなど早い段階から卒論について考える機会が多かったので、自然と卒論のテーマや目次を選定することができてよかった」等があり、また授業の質評価に関しても5つの項目すべてが平均値4.5~4.7となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生が少ない。この点はコロナ禍であったことから利用しにくい側面もあったと思われるが、次年度以降の検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。